

令和 7 年度  
内部質保証に係る  
自己点検・評価報告書

令和 7 年 1 2 月

岐阜大学

## 1. 趣旨

大学は、その教育研究水準の向上に資するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備（以下「教育研究等」という。）の状況について自ら点検及び評価（以下「自己点検・評価」という。）を行い、その結果を公表することが、学校教育法第109条第1項で定められている。また、同条第3項において、文部科学大臣の認証を受けた機関による認証評価を受けることが義務づけられており、本学においては（独）大学改革支援・学位授与機構（以下「NIAD」という。）の認証評価を受審することとしている。NIADが実施する認証評価においても「大学が自らの責任で自学の諸活動について点検・評価を行い、その結果をもとに改革・改善に努め、それによってその質を自ら保証すること」とする「内部質保証に関すること」が重点評価項目となっており、内部質保証に係る体制や手順を明確に規定することが求められている。

本報告書は令和7年度に実施した自己点検・評価の結果について、本学の内部質保証体制の下で検証した結果を公表するものである。

## 2. 基本的な考え方

「岐阜大学内部質保証基本方針」に規定している「教育活動・教育課程」、「学生支援」、「学生受入」、「施設及び設備（情報）」、「施設及び設備（施設）」、「（図書）」の各領域について、毎年度、自己点検・評価を実施する。

なお、各領域の点検項目は、大学機関別認証評価のNIADの評価基準に基づいている。

## 3. 総括

「内部質保証体制」、「基本組織」、「教育活動・教育課程」、「学生支援」、「学生受入」、「施設及び設備（情報）」、「施設及び設備（施設）」、「施設及び設備（図書）」について自己点検・評価を実施した結果、「基本組織」及び「学生受入」については一部改善すべき点があるが、総合的に勘案し、大学として相応しい教育研究活動等の質を確保している状況にある。

### **【改善すべき点】**

#### ○「基本組織」について

- ・教育学研究科、医学部看護学科、工学部、応用生物科学部及び社会システム経営学環において、教員の性別等に照らして適切に配置されていない状況である。

#### ○「学生受入」について

令和7年度の実入学者数について

- ・地域科学研究科の実入学者数が入学定員を大幅に下回る状況である。

- ・教育学研究科、共同獣医学研究科、連合農学研究科及び連合創薬医療情報研究科の実入学者数が入学定員を大幅に上回る状況である。

#### 4. 自己点検・評価の検証結果

自己点検・評価の検証結果については、次ページ以降のとおり。

「教育活動・教育課程」（毎年度の点検項目）

点検項目		検証結果
学部研究科において、内部質保証の取組(PDCA-Cycle)が行われていること		
	情報を収集し分析した事例はあるか	満たしている
	実施計画を立てた事例はあるか	満たしている
	改善につながった事例はあるか	満たしている
授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント(FD)を組織的に実施していること		
	FD等を実施しているか	満たしている
	FD等の実施が授業内容及び方法の改善につながった事例があるか	満たしている
授業科目の内容及、授与する学位に相応しい水準となっていること		
	シラバスを点検したか	満たしている
	シラバスに「到達すべき目標」が箇条書きで記載されている授業科目の割合（記載率）	満たしている
	記載率が低いと判断する場合は、記載率を高める取組を実施し、改善が図られたか	満たしている
成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認している。		
	シラバスに記載されている「到達すべき目標」に照らして成績評価を行うことを組織的に確認しているか	満たしている
	成績評価を厳格にする取組を実施しているか	満たしている
標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること		
	学部・研究科の標準修業年限内の卒業（修了）率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率、資格取得等を把握し、適正な状況にあることを確認しているか	満たしている
就職（就職希望者に対する就職者の割合）及び進学の様子が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること		
	本学統一の書式または独自の書式によって就職状況を分析したか	満たしている
	分析によって進路状況等が大学等の目的及び学位授与方針に則して妥当なものであること等を確認しているか	満たしている
卒業（修了）時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること		
	卒業（修了）時の学生から意見聴取をしているか	満たしている
	学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査等、意見聴取を行い、学習成果があがっていることが確認できたか	満たしている



「教育活動・教育課程」（3年に一度の点検項目）

点検項目		検証結果
教員の年齢及び性別の構成が著しく偏っていないこと		
	各職階（教授・准教授・助教）の比率が50%をこえていないか	一部満たしていない
	教員の平均年齢は45～55歳であるか	満たしている
	女性教員の比率が18%以上であるか	一部満たしていない
教育課程ごとの点検・評価において、領域6の各基準に照らした判断を行うことが定められていること		
	連携開設科目を設定しているか	満たしている
	他の大学が開設する科目も含めて適否の確認を行うなど点検・評価において重点的に取り扱われているか	満たしている
教育課程ごとの点検・評価において、関係者（学生、卒業生、卒業生の主な雇用主等）から意見聴取する仕組みを設けていること		
	教育課程、施設及び設備、学生支援並びに学生の受入のそれぞれに関して、関係者（学生、卒業（修了）生、卒業（修了）生の主な雇用主等）から意見を聴取することが定められており、その結果を機関別内部質保証体制が確認する仕組みを設けているか	満たしている
学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること		
	教育目標とディプロマ・ポリシーに整合性があるか	満たしている
教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、 ①教育課程の編成の方針 ②教育課程における教育・学習方法に関する方針 ③学習成果の評価の方針 を明確かつ具体的に明示していること		
	教育課程方針において、分析項目本文の①から③の各項目に係る記述が含まれているか	満たしている
教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること		
	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに整合性があるか	満たしている
教育課程の編成が、体系性を有していること		
	カリキュラム・マップ等を作成しているか	満たしている
	カリキュラム・ポリシーとカリキュラムには整合性があるか	満たしている
大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究成果を含む）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること		
	研究指導の基本方針や考え方を確認する（研究指導、学位論文等の	満たしている

	指導体制が確認できる規定、申合せ等を整備しているか。研究指導計画書、研究指導報告書等を整備しているか)	
	指導体制を整備し、それに基づく指導を実施（研究倫理に関する教育・指導を含む。）しているか	満たしている
	複数教員による指導体制、研究テーマ決定に対する指導、年間研究指導計画の作成・活用、中間発表会の開催、国内外の学会への参加促進、他大学や産業界との連携、T A・R Aとしての活動を通じた教育・研究能力の育成等、教育の目的や研究指導の基本方針等に照らして、研究指導に対する取組が行われているか	満たしている
大学院課程（専門職学位課程を除く）においては、学位論文（特定の課題についての研究の成果を含む）の作成等に係る指導（以下「研究指導」という）に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること		
	（教育学研究科のみ）法令に則して、教育課程が編成され、教育課程連携協議会を運用しているか	満たしている
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各科目の授業期間が 10 週又は 15 週にわたるものとなっていること。なお、10 週又は 15 週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10 週又は 15 週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること</li> <li>・適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること</li> <li>・教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること</li> </ul>		
	教員一人当たりの平均コマ数や卒業研究における学生教員比率などを確認しているか	満たしている
	卒業研究に係る成績評価の体制が整っており、成績評価が適正に行われていることを組織的に確認しているか	満たしている
専門職大学院においては、履修登録の上限設定の制度（C A P 制度）を設けていること		
	履修登録の上限設定の制度（C A P 制度）を設けているか	満たしている
大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第 14 条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合には、法令に則した実施方法となっていること		
	大学院において教育方法の特例（大学院設置基準第 14 条）の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっているか	満たしている
教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること		
	連携協力校を確保しているか	満たしている
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること</li> <li>・学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること</li> </ul>		
	学生のニーズに即した適切な履修指導や学習相談（ガイダンス、担任制、学修成果の組織的な把握と対応、学修計画の指導、オフィス	満たしている

	アワーの設定、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導・助言など）を行っているか	
社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること		
	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施しているか	満たしている
成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること		
	学部研究科の成績評価基準を点検したか	満たしている
	学部研究科の成績評価基準が、「岐阜大学成績評価基準」及び「岐阜大学シラバス作成ガイドライン」で定めた基準と対応しているか	満たしている
成績評価基準を学生に周知していること		
	成績評価基準を、学生に対して、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により周知しているか	満たしている
成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること		
	成績に関する異議を受け付ける窓口が教員のみでなく、受付後の対応の手順、様式等を整備しているか	満たしている
	異議申立てに対し、教員組織が対応を行っているか	満たしている
	申立ての内容及びその対応、申立ての件数等について確認したか	満たしている
	成績評価の根拠となる資料（答案、レポート、出席記録等）が、検証できる状況にあるか	満たしている
大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件（以下「卒業（修了）要件」という。）を組織的に策定していること		
	学則に定められている学科又は課程ごとに卒業要件を学部規程で策定しているか	満たしている
	学則に定められている専攻ごとに修了要件を研究科規程で策定しているか	満たしている
策定した卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）を学生に周知していること		
	卒業（修了）要件を、学生に対して、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により周知を図っているか	満たしている
卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施していること		
	卒業又は修了の認定を、卒業（修了）要件（学位論文評価基準を含む）に則して組織的に実施しているか	満たしている
卒業（修了）後一定期間の就業経験等を経た卒業（修了）生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること		
	卒業（修了）後、一定年限を経過した卒業（修了）生についての意見聴取を行う手順を策定しているか	満たしている
	卒業（修了）生から意見聴取を行い、対応策を検討しているか	満たしている

就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること		
	就職先や進学先等の関係者への意見聴取を行う手順を作成しているか	満たしている
	就職先や進学先等の関係者への意見聴取を行い、対応策を検討しているか	満たしている

### 優れた点

#### ○【教育学部】

教職志向を維持させ続けるための学生支援として、教育実習から教員採用試験までの一貫した学生支援を行う学部組織（校長経験者で構成される教職サポート室や全講座の教員からなる教職サポート委員会）のもと、県内各教育事務所及び市町村教育委員会と連絡体制を構築し、以下の２点に取り組んでいる。

- ①教員採用試験二次試験の合格発表直前（８月）に臨時的任用職員（常勤講師）登録制度についての説明会を実施している。
- ②教員採用試験後（一次試験合格発表後の７月、二次試験合格発表後の８月）に合格しなかった全学生に対して臨時的任用職員（常勤講師）に関する個別指導・面談を実施し、県内各教育事務所、市町村教育委員会と連絡を密にとり、積極的に登録を促している。

### 改善すべき点

#### ○「基本組織」について

- ・教育学研究科、医学部看護学科、工学部、応用生物科学部及び社会システム経営学環において、教員の性別等に照らして適切に配置されていない状況である。

「学生支援」（毎年度の点検項目）

点検項目		検証結果
学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること		
	生活支援等に関する総合的相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。	満たしている
	健康に関する相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。	満たしている
	就職等進路に関する相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。	満たしている
	各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談の体制の整備及び相談実績を確認する。	満たしている
	各種相談・助言体制については、組織の役割、実施組織の人的規模やバランス、組織間の連携や意思決定プロセス、責任の所在等が確認できる資料・データを用いて整備状況を確認する。	満たしている
学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること		
	課外活動の支援について、課外活動団体数、課外活動施設設備の整備、及び運営資金や備品貸与等の支援の状況を確認する。	満たしている
留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること		
	留学生に対する生活支援の実施体制及び実施状況について確認する。	満たしている
	海外から受け入れる学生に対する入学前の支援について確認する。	満たしている
	卒業（修了）後の留学生の状況を把握していることを確認する。	満たしている
障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること		
	障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援の実施体制及び実施状況について、関係法令の趣旨を考慮して確認する。	満たしている
	対象となる学生が現在在籍していない場合でも、各大学固有の事情等に応じて生活支援を行うことのできる状況にあるかについて確認する。	満たしている
学生に対する経済面での援助を行っていること		
	奨学金制度の整備状況と当該窓口の周知及び利用実績について確認する。	満たしている
	入学料・授業料免除、奨学金（給付、貸与）、学生寄宿舍等、各大学固有の事情等に応じて、学生の経済面の援助が行われているかについて確認する。	満たしている

### 「学生受入」（毎年度の点検項目）

点検項目		検証結果
学生の受入が適切に行われていること		
	入学者の基礎学力が昨年度に比較して同等あるいは向上しているか 学部等の場合、基礎学力には教学 IR 室が提供する大学入学共通テストの得点率も参考にすること。（本検証は、博士後期課程及び博士課程を除く。）	満たしている
	検証に基づいて入学者選抜の変更を検討（実施も含む）している事例があるか	満たしている
実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと		
	学部等では $100\% \leq \text{実入学者数} / \text{入学定員} \leq 110\%$ （105%）となっているか？	満たしている
	研究科では $70\% \leq \text{実入学者数} / \text{入学定員} \leq 130\%$ となっているか？	一部満たしていない

### 「学生受入」（3年に一度の点検項目）

点検項目		検証結果
学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること		
	教育目標とアドミッション・ポリシーに整合性があるか	満たしている
学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること		
	アドミッション・ポリシーに基づき入試を実施しているか	満たしている

### 改善すべき点

○令和7年度の実入学者数について

- ・地域科学研究科の実入学者数が入学定員を大幅に下回る状況である。
- ・教育学研究科の実入学者数が入学定員を大幅に上回る状況である。
- ・共同獣医学研究科の実入学者数が入学定員を大幅に上回る状況である。
- ・連合農学研究科の実入学者数が入学定員を大幅に上回る状況である。
- ・連合創薬医療情報研究科の実入学者数が入学定員を大幅に上回る状況である。

## 「施設及び設備（情報）」

教育研究活動を展開する上で必要な I C T 環境を整備し、それが有効に活用されていること		
	情報通信におけるコミュニケーションの重要性を踏まえつつ、教職員及び学生が授業内外において簡単にインターネットに接続できる環境の整備状況を含め、大学において編成された教育課程の遂行に必要な I C T 環境の整備状況や活用状況を確認する。	満たしている
	整備状況については、I C T 環境の整備充実に向けた取組に加え、これらを維持・管理するためのメンテナンスやセキュリティ管理が行われているかについて確認する。	満たしている
	授業管理を支援するための統合化されたオンラインシステム等の学習支援環境の基盤の I C T 化が行われている場合は、その整備と活用の状況を含めて確認する。	満たしている



## 「施設及び設備（施設）」

教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

施設・設備における耐震化については、評価実施年度の耐震化率を確認する。	満たしている
耐震基準を満たしていない場合は、その理由と改善のための計画について確認する。	満たしている
施設・設備の老朽化に対する対応の状況について確認する。	満たしている
外灯や防犯カメラの設置等、各大学固有の事情等に応じて安全・防犯面への配慮がなされていることを確認する。	満たしている
施設・設備のバリアフリー化について、障害のある学生等の利用者が円滑に利用できるよう配慮がなされていることを確認する。	満たしている
その他施設・設備に法令上の要件が課されている場合は、適切な管理運営の状況を確認する。	満たしている

## 優れた点

○令和10年度の大規模改修に向けた概算要求に際し、教育学部校舎改修計画の利用方針について、意見交換の結果、教育学部校舎C棟を社会システム経営学環が利用する方針を決定した。これは、同学環は仮設スペースで活動しているところ、活動拠点が集約され、教育・研究環境の改善が期待されるとともに、既存施設の有効活用を促進している。

○学生生活実態調査の結果について、独自で「不満の声に対する改善優先度マップ」を作成し、優先度が高い項目についてインフラ長寿命化計画の整備対象に含まれているかを確認している。



### 「施設及び設備（図書）」

大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること		
	図書館を中心に図書等の資料が系統的に整備され、活用できる状態になっていることを確認する。	満たしている
自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること		
	自主的学習環境の整備状況（部屋数、机、パソコン等の台数等）については、その環境を必要とする学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。 ※自主的学習環境の整備等、特色ある学習環境の構築により成果が得られている場合は、その内容について確認する。	満たしている

### 優れた点

○図書館本館では、令和6年度に、コロナ禍収束後の図書館スペースのあり方について再検討し、全館を多様な学修の形態に対応できる学びの場所として、以下のとおりゾーニングの変更を実施した。

- ・1階の自由な学修スペースであるアカデミック・コアからの繋がりを踏まえ、2階を会話可能な学修スペース、3階を静かに集中して学修するスペースと位置づけ、それぞれ目的に適した形に什器を再配置した。
- ・利用の多い図書資料のコーナーを学生がアクセスしやすい位置に移動した。また、2階のパソコンコーナーの一部を3階に移動するなど、学生のニーズや動線を考慮した改善を行った。
- ・エントランスホールにソファ・テーブルや自動販売機（飲料・軽食）を設置して、ラウンジ的な機能を持たせて居心地の良い空間を整えた。

結果として、令和7年4月の本館の入館者数は前年同月比10%以上の増加となっており、取組の成果が上がっている。

参考資料

教育活動・教育課程

学生受入

令和6年度(7年度実施)各学部・研究科自己点検評価結果集計表(毎年実施分)

分析項目		検証		教育学部・教育学研究科	地域科学部・地域科学研究科	医学系研究科・医学部		工学部・工学研究科	応用生物科学部	社会システム経営学環	自然科学技術研究科	共同獣医学研究科	連合農学研究科	連合創薬医療情報研究科	全学共通教育
番号	内容	番号	内容			医学科・医療者教育学専攻・医学科学専攻	看護学科・看護学専攻								
2-3-1	学部研究科において、内部質保証の取組(PDCA-Cycle)が行われていること	検証1	情報を収集し分析した事例はあるか(C, A) ? ○:ある ×:ない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2-3-2		検証2	実施計画を立てた事例はあるか(P) ? ○:ある ×:ない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2-3-3		検証3	改善につながった事例があるか(D) ? ○:ある ×:ない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2-5-4	授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント(FD)を組織的に実施していること	検証1	FD等を実施しているか? ○:実施した ×:実施していない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検証2	FD等の実施が授業内容及び方法の改善につながった事例があるか? ○:事例がある ー:事例がない	○	○	○		○	○	○	○	○	—	○	○
5-2-2	学生の受入が適切に行われていること	検証1	入学者の基礎学力が昨年度に比較して同等あるいは向上しているか? 学部等の場合、基礎学力には教学IR室が提供する大学入学共通テストの得点率も参考にすること。(本検証は、博士後期課程及び博士課程を除く。) ○:点検した ×:点検していない	○	○	○	○	○	○	○	○				
		検証2	検証に基づいて入学者選抜の変更を検討(実施も含む)している事例があるか? ○事例がある ー:事例がない	○	—	○	—	○	○	○	○				
5-3-1	実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと	検証1	学部等では100%≦実入学者数/入学定員≦110%(105%) となっているか? ○:なっている ×:なっていない	○	○	○	○	○	○	○					
		検証2	研究科では70%≦実入学者数/入学定員≦130% となっているか? ○:なっている ×:なっていない	○	×	○	○	○			×	○	×	○	
6-3-2	授業科目の内容及、授与する学位に相応しい水準となっていること	検証1	シラバスを点検したか? ○:点検した ×:点検していない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検証2	シラバスに「到達すべき目標」が箇条書きで記載されている授業科目の割合(記載率)は? 記載率(100%)＝記載されている科目の総数/授業科目の総数	100%	100%	100%	98%	97%	94.1%	100%	90%	100%	100%	98%	98.84%
		検証3	記載率が低いと判断する場合は、記載率を高める取組を実施し、改善が図られたか? ○:改善されている △:取り組んでいるが改善にはつながっていない ×:取り組んでいない ー:記載率は十分に高いと判断している	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6-6-3	成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	検証1	シラバスに記載されている「到達すべき目標」に照らして成績評価を行うことを組織的に確認しているか? ○:確認している ×:確認していない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検証2	成績評価を厳格にする取組を実施しているか? ○:実施している ×:実施していない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6-8-1	標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	検証1 検証2	学部・研究科の標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等を把握し、適正な状況にあることを確認しているか? ○:適正な状況である ×:適正な状況ではない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-8-2	就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	検証1 検証2	本学統一の書式または独自の書式によって就職状況を分析したか? ○:実施した ×:実施していない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		検証3	分析によって進路状況等が大学等の目的及び学位授与方針に則して妥当なものであること等を確認しているか? ○:確認している ×:確認していない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-8-3	卒業(修了)時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	検証1	卒業(修了)時の学生から意見聴取を行っているか? ○:行っている ×:行っていない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		検証2	学習の達成度や満足度に関するアンケート調査、学習ポートフォリオの分析調査等、意見聴取を行い、学修成果があがっていることが確認できたか? ○:確認している ×:確認していない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

令和6年度(7年度実施)各学部・研究科自己点検評価結果集計表(毎年実施分)

<主な取り組み事例>

番号	内容	部局名	取り組み事例
2－3－1 2－3－2 2－3－3	学部研究科において、内部質保証の取組(PDCA-Cycle)が行われていること	教育学部	2019年度より上記の進路希望調査を開始し、データが蓄積され、1～4年のどの時期に教員志望率が低下しやすい傾向にあるかが明らかになってきた。そのため、その時期に合わせて現職教員等による教職の魅力を語る場を設定することが可能となった。また蓄積されたデータを基に、教員志望の4年間推移をパターン別に分け、パターンに応じた学生への働きかけを検討することができた。
		地域科学部	卒業生アンケートにおいて、「十分」と「おおむね十分」を足した値が比較的低い項目として、「文章や口頭発表の表現力」(87%)、「国際的な視野を持って多様な文化を理解する能力」(81%)があった。しかしR5年度アンケートでは、「文章や口頭発表の表現力」(80%)となっており、大幅に向上した。コロナ禍にありながら発表機会を十分に確保するなど、各教員が工夫して取り組んだことが功を奏したと考えられる。
		医学部医学科	分析に基づき改善を検討した結果、教員の視点及び6年間医学教育を受けて卒業する学生の視点から現行の医学専門教育に関する課題を明らかにして、カリキュラムの見直しを行い、令和7年度から3年生を対象に課外時間に研究活動に取り組めるように調整した。入学者選抜方法、入学後の学修状況、医師国家試験の合格者数を分析して、入試の実施方法の検討を継続した。卒業試験の出題方法を見直した結果、令和6年度は受験者110名のうち108名が卒業試験に合格して卒業し、卒業生108名のうち107名が医師国家試験に合格することにつながった。
		医学部看護学科	令和6年度の卒業生の雇用先に対するアンケート調査では、「グローバル化の動向における看護の在り方」「保健医療福祉における協働と連携」の理解が低いことが示された。さらに調査結果を詳細に分析しカリキュラムを点検・評価し、必要時、改善案を提案していく。
		工学部	リフレクションペーパーを通して、各教員がそれぞれの授業において工夫・配慮・考慮などの改善に取り組んでいる。また、リフレクションペーパーの結果と授業評価アンケートの集計結果は、教育改善につなげるべく、教育改善室で確認するとともに他の教員の取り組みの内容を自身の改善に役立てられるよう、全教員に共有している。
		応用生物科学部	後学期ガイダンスの実施時期を9/30から後学期履修登録前に変更し、帰省中の学生が多くいるために実施方法をオンデマンドに変更することとし、学生の単位の取りこぼし(特に全学共通教育開講科目)にアプローチすることができた。
		社会システム経営学環	2年生後学期から始まるデザイン実習について、学生の成長の評価とともに、外部の実習パートナーによる全般的な評価が得られるような仕組みを作った。これにより、学生に対する自己評価を段階的に行うアンケートや、実習パートナーから評価を得るためのシートを作成し、実践した。
2－5－4	授業の内容及び方法の改善を図るためのファカルティ・ディベロップメント(FD)を組織的に実施していること	医学部医学科	FDでは、学内診療科及び学外の実習先医療機関から指導医が参加し、臨床実習のあり方や医学生が許される実習での医行為について情報を共有し、診療現場での学生評価の方法、ポートフォリオの活用、学生が問題行動を起こした場合の対応を意見交換した。実習先から寄せられた意見・要望や質問を持ち帰り、選択臨床実習の授業内容や指導方法の見直しを図った。
		自然科学技術研究科	「研究指導を円滑にするために」(R6.11.20)参加者数：190名(応生系73名、工学系117名) ・近年、研究室の運営や教員-学生間の関係での相談が増えている中で、研究科として課題意識を共有することが出来た。 ・FD実施以降に類似した事案が発生した際に対応について、FDの内容を参考に対応を検討している。 ・リフレクションペーパーの実施により、各教員が授業評価アンケートの結果も参考に担当する講義について振り返り、改善点の検討につながっている。 ・FDの実施やリフレクションペーパーの内容を、構成員で共有することで、FD同様に授業改善に関する情報を提供している。
		共同獣医学研究科	以下のFDを開催した。 ①R6.7.24「研究科共通科目『アカデミック・イングリッシュ』の改善に向けて」21人 ②R6.9.25「鳥取大学との共同授業『学際領域特別演習』の改善に向けて」21人 ③R6.12.25「成績評価の分布の点検について」23人 ④R6.3.26「研究科共通科目『生物情報解析学特論』の改善に向けて」21人 プレゼンテーション技能を向上させる内容の授業に対する要望が大きく、FDにおいて意見交換をし、基盤特別講義、基盤特別演習、スペシャリスト特別講義、スペシャリスト特別演習において、プレゼンテーション技能の強化を意識した内容を盛り込むこととした。
5－2－2 5－3－1	学生の受入が適切に行われていること 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないこと	医学部医学科	令和5年度入試から後期日程での学生募集を廃止して、学校推薦型選抜と前期日程の募集人員を増員した。また、前期日程の個別学力検査の面接試験を従前より時間を掛けて実施できるように、1段階選抜の合格者を定員の9倍から3倍とする変更を行った。入学者選抜方法の変更の際は、医学教育IR室が過去の医学科の志願者及び合格者の得点を分析した結果を元に、医学科入試委員会で検討して決定した。
		工学部	・入試委員会において、入試状況を踏まえて検討している。 ・「高度情報専門人材確保に向けた機能強化」の採択に伴い、電気電子・情報工学科 情報コースの定員を変更した。推薦Ⅱ 8名→11名、前期日程 32名→44名、後期日程 28名→33名 過去の検討例 ・英語能力の向上等を目的に一般入試の配点を変更した。 ・推薦Ⅱの出願時期を大学入試センター試験後に変更した。 ・3年次編入学試験の入試別募集人数を変更した。 ・推薦Ⅱ及び3年次編入学試験の出願資格の見直しを行った。
		社会システム経営学環	学校推薦型選抜Ⅱについて、獲得したい学生像に照らし合わせ、「商業・工業・農業等の実業に関する学科」の募集枠を令和8年度入試から実施する。

令和6年度(7年度実施)各学部・研究科自己点検評価結果集計表(毎年実施分)			
6－3－2	授業科目の内容が、授与する学位に相応しい水準となっていること	教育学部・教育学研究科	教学委員会や教授会にて、「岐阜大学シラバス作成ガイドライン」に基づいたシラバスの確実な記入を依頼し、各講座や教学委員長、学務係にてシラバス点検を行った。記入不備科目については、追記や修正を求めた。
		地域科学部・地域科学研究科	第14回教務厚生委員会(2月5日)の終了後、「岐阜大学成績評価基準」「岐阜大学シラバス作成ガイドライン」等に基づいて、教務委員による全科目についてのシラバスチェックを行った。不備のあるものについては、当該教員へ加筆修正を求めた。
		応用生物科学部	年度末に全教員に対しアンケートにより「シラバス・成績評価に関する自己点検評価」を行っており、令和6年度は95.1%の教員がシラバスの記載どおりに授業を実施したと回答、一方成績評価は、教員全員がシラバス記載どおりに実施できたと回答した。次年度の改善計画についても学生の理解を深める具体的な工夫・改善点が多く寄せられた。
6－6－3	成績評価基準に則り各授業科目の成績評価や単位認定が厳格かつ客観的に行われていることについて、組織的に確認していること	地域科学部	学修成果を可視化するための取り組みとして、卒業論文および修士論文の提出者全員を対象に、主査および副査の教員に「学修成果評価書」の提出を求めた。この評価書では、本学部のディプロマ・ポリシーに記載された能力の項目ごとに達成度を4段階で評価した。
		社会システム経営学環	次年度シラバスの点検及びシラバス作成に関するFDIにおいて、「到達すべき目標」と成績評価の整合性の必要性を確認して、改善すべきと思われる点が修正された。
6－8－1	標準修業年限内の卒業(修了)率及び「標準修業年限×1.5」年内卒業(修了)率、資格取得等の状況が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	連合農学研究科	国費留学生の主指導教員については、指導学生が過年度生になった場合、今後の指導計画について研究科長や専任教員と面談し、今後の指導計画について再確認する。
6－8－2	就職(就職希望者に対する就職者の割合)及び進学の様子が、大学等の目的及び学位授与方針に則して適正な状況にあること	教育学部	卒業生の教員就職率について、毎年6月に、学校種別、県別及び講座別に分析し、教授会において説明を行っている。また、先に述べた進路希望調査結果を指導教員にフィードバックしきめ細やかな進路指導を行うとともに、学年全体の傾向を1月教授会において説明し、進路指導の方針を伝えている。
		応用生物科学部	応用生命科学課程及び生産環境科学課程の2課程は、専門性進路率が過去5年すべてで9割に達している。共同獣医学科は、ほぼ100%の者が専門性に関連する進路に進んでいる。
6－8－3	卒業(修了)時の学生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	教育学部	学部生については、入学時に学修録(カリキュラムマップの時系列に沿って、自らの学習記録を定期的に振り返り、教師としての力量を自律的に身につけるための記録ファイル)を配付しており、4年間の学修の記録、レポートを積み重ねさせ、4年次の教職実践演習において自己分析させている。また、卒業時のアンケートにおいても達成度、満足度を聴取している。
		地域科学部	学部卒業生アンケートにおいて、「地域科学部のカリキュラムが目指している以下の能力や知識の向上は、どの程度達成できましたか」という設問を設け、9項目について尋ねたところ、うち5項目で95%以上の学生が「十分」または「おおむね十分」と回答している。それ以外についても、90%程度の学生が「十分」または「おおむね十分」と回答している。(1項目のみ81%)
		医学部医学科	医学部医学科では、卒業式当日に卒業時アンケートを実施し回答を得ている。結果については、医学教育IR室にて分析を行い、今後の医学教育の改善に利用している。また、4年次11月から1年間実施される院内臨床実習が終了した後の11月末にポートフォリオを点検している。学内臨床実習指導教員が臨床実習ポートフォリオ評価用ルーブリックに基づき、評価を行っている。

令和6年度(令和7年度実施) 各学部・研究科自己点検評価結果集計表(3年に一度実施分)

分析項目		検証		教育学部	教育学研究科	地域科学部	地域科学研究科	医学系研究科・医学部					工学部	工学研究科	応用生物科学部	社会システム経営学環	自然科学技術研究科	共同獣医学研究科	連合農学研究科	連合創薬医療情報研究科	全学共通教育
番号	内容	番号	内容					医学科	医科学専攻	医療者教育学専攻	看護学科	看護学専攻									
1-2-2	教員の年齢及び性別の構成が、著しく偏っていないこと	検証1	各職階(教授・准教授・助教)の比率が50%を超えていませんか？ ○:はい ×:いいえ	○	×	○	－	○	○	－	×	－	○	－	○	×	－	－	－	－	
		検証2	教員の平均年齢は45～55歳ですか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	－	○	○	－	○	－	○	－	○	○	－	－	－	－	
		検証3	女性教員の比率が18%以上ですか？ ○:はい ×:いいえ	○	×	○	－	○	○	－	○	－	×	－	×	○	－	－	－	－	
2-2-2	教育課程ごとの点検・評価において、領域6の各基準に照らした判断が行うことが定められていること	検証1	連携開設科目を開設していますか？ ○:はい ー:いいえ	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	○
		検証2	他の大学が開設する科目も含めて適否の確認を行うなど点検・評価において重点的に取り扱われていますか？)※検証1ではいの部局のみ ○:はい ×:いいえ	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－	－	○
2-2-4	教育課程ごとの点検・評価において、関係者(学生、卒業生、卒業生の主な雇用主等)から意見聴取する仕組みを設けていること	検証1	教育課程、施設及び設備、学生支援並びに学生の受入のそれぞれに関して、関係者(学生、卒業(修了)生、卒業(修了)生の主な雇用者等)から意見を聴取することが定められており、その結果を機関別内部質保証体制が確認する仕組みを設けていますか？	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5-1-1	学生受入方針において、「求める学生像」及び「入学者選抜の基本方針」の双方を明示していること	検証1	教育目標とアドミッション・ポリシーに整合性がありますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5-2-1	学生受入方針に沿って、受入方法を採用しており、実施体制により公正に実施していること	検証1	アドミッション・ポリシーに基づき入試を実施していますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-1-1	学位授与方針を、大学等の目的を踏まえて、具体的かつ明確に策定していること	検証1	教育目標とディプロマ・ポリシーに整合性がありますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-2-1	教育課程方針において、学生や授業科目を担当する教員が分かりやすいように、 ①教育課程の編成の方針 ②教育課程における教育・学習方法に関する方針 ③学習成果の評価の方針を明確かつ具体的に明示していること	検証1	教育課程方針において、分析項目本文の①から③の各項目に係る記述が含まれていいますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-2-2	教育課程方針が学位授与方針と整合性を有していること	検証1	ディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに整合性がありますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-3-1	教育課程の編成が、体系性を有していること	検証1	カリキュラム・マップ等を作成していますか？ ○:はい(作成していないが代替措置等ある場合含む) ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		検証2	カリキュラム・ポリシーとカリキュラムには整合性がありますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-3-4	大学院課程(専門職学位課程を除く)においては、学位論文(特定の課題についての研究の成果を含む)の作成等に係る指導(以下「研究指導」という)に関し、指導教員を明確に定めるなどの指導体制を整備し、計画を策定した上で指導することとしていること	検証1	研究指導の基本方針や考え方を確認する(研究指導、学位論文等の指導体制が確認できる規定、申合せ等が整備されているか。研究指導計画書、研究指導報告書等が整備されているか) ○:はい ×:いいえ		○		○		○	○		○		○			○	○	○	○	
		検証2	指導体制を整備し、それに基づく指導が実施(研究倫理に関する教育・指導を含む。)されていますか？ ○:はい ×:いいえ		○		○		○	○		○		○			○	○	○	○	
		検証3	複数教員による指導体制、研究テーマ決定に対する指導、年間研究指導計画の作成・活用、中間発表会の開催、国内外の学会への参加促進、他大学や産業界との連携、TA・RAとしての活動を通じた教育・研究能力の育成等、教育の目的や研究指導の基本方針等に照らして、研究指導に対する取組が行われていますか？ ○:はい ×:いいえ		○		○		○	○		○		○			○	○	○	○	
6-3-5	専門職大学院を設置している場合は、法令に則して、教育課程が編成されるとともに、教育課程連携協議会を運用していること	検証1	(教育学研究科のみ)法令に則して、教育課程が編成され、教育課程連携協議会が運用されていますか？ ○:はい ×:いいえ		○																

分析項目		検証		教育学部	教育学研究科	地域科学部	地域科学研究科	医学系研究科・医学部					工学部	工学研究科	応用生物科学部	社会システム経営学環	自然科学技術研究科	共同獣医学研究科	連合農学研究科	連合創薬医療情報研究科	全学共通教育
番号	内容	番号	内容					医学科	医科学専攻	医療者教育学専攻	看護学科	看護学専攻									
6-4-2 6-4-3 6-4-4	各科目の授業期間が10週又は15週にわたるものとなっていること。なお、10週又は15週と異なる授業期間を設定する場合は、教育上の必要があり、10週又は15週を期間として授業を行う場合と同等以上の十分な教育効果をあげていること 適切な授業形態、学習指導法が採用され、授業の方法及び内容が学生に対して明示されていること 教育上主要と認める授業科目は、原則として専任の教授・准教授が担当していること	検証1	教員一人当たりの平均コマ数や卒業研究における学生教員比率などを確認しましたか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		検証2	卒業研究に係る成績評価の体制が整っており、成績評価が適正に行われていることを組織的に確認していますか？ ○:はい ×:いいえ	○		○				○		○		○	○						
6-4-5	専門職大学院においては、履修登録の上限設定の制度(CAP制度)を設けていること	検証1	履修登録の上限設定の制度(CAP制度)を設けていますか？ ○:はい ×:いいえ		○																
6-4-6	大学院において教育方法の特例(大学院設置基準第14条)の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合には、法令に則した実施方法となっていること	検証1	大学院において教育方法の特例(大学院設置基準第14条)の取組として夜間その他特定の時間又は期間に授業を行っている場合は、法令に則した実施方法となっていますか？ ○:はい(該当無含む) ×:いいえ		○		○		○	○		○	○			○	○	○	○	○	
6-4-8	教職大学院を設置している場合は、連携協力校を確保していること	検証1	連携協力校を確保していますか？ ○:はい ×:いいえ		○																
6-5-1	学生のニーズに応え得る履修指導の体制を組織として整備し、指導、助言が行われていること	検証1	学生のニーズに即した適切な履修指導や学習相談(ガイダンス、担任制、学修成果の組織的な把握と対応、学修計画の指導、オフィスアワーの設定、能力別クラス分け、基礎学力不足の学生に対する指導・助言など)を行っていますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6-5-2	学生のニーズに応え得る学習相談の体制を整備し、助言、支援が行われていること																				
6-5-3	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していること	別紙様式	社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組を実施していますか？ ○:はい ×:いいえ -:学生が社会人等のため未実施等	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-6-1	成績評価基準を学位授与方針及び教育課程方針に則して定められている学習成果の評価の方針と整合性をもって、組織として策定していること	検証1	学部研究科の成績評価基準を点検しましたか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検証2	学部研究科の成績評価基準が、「岐阜大学成績評価基準」及び「岐阜大学シラバス作成ガイドライン」で定めた基準と対応していますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6-6-2	成績評価基準を学生に周知していること	検証1	成績評価基準を、学生に対して、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により周知していますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6-6-4	成績に対する異議申立て制度を組織的に設けていること	検証1	成績に関する異議を受け付ける窓口が教員のみでなく、受付後の対応の手順、様式等について整備されていますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検証2	異議申立てに対し、教員組織が対応を行っていますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検証3	申立ての内容及びその対応、申立ての件数等について確認しましたか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		検証4	成績評価の根拠となる資料(答案、レポート、出席記録等)が、検証できる状況にありますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6-7-1	大学等の目的及び学位授与方針に則して、卒業又は修了の要件(以下「卒業(修了)要件」という。)を組織的に策定していること	検証1	学則に定められている学科又は課程ごとに卒業要件を学部規程で策定していますか？ ○:はい ×:いいえ	○		○		○			○		○		○	○					
		検証2	学則に定められている専攻ごとに修了要件を研究科規程で策定していますか？ ○:はい ×:いいえ		○		○		○	○		○		○			○	○	○	○	

分析項目		検証		教育学部	教育学研究科	地域科学部	地域科学研究科	医学系研究科・医学部					工学部	工学研究科	応用生物科学部	社会システム経営学環	自然科学技術研究科	共同獣医学研究科	連合農学研究科	連合創薬医療情報研究科	全学共通教育
番号	内容	番号	内容					医学科	医科学専攻	医療者教育学専攻	看護学科	看護学専攻									
6-7-3	策定した卒業(修了)要件(学位論文評価基準を含む)を学生に周知していること	検証1	卒業(修了)要件を、学生に対して、刊行物の配布・ウェブサイトへの掲載等の方法により周知を図っていますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-7-4	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文評価基準を含む)に則して組織的に実施していること	検証1	卒業又は修了の認定を、卒業(修了)要件(学位論文評価基準を含む)に則して組織的に実施していますか？ ○:はい ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6-8-4	卒業(修了)後一定期間の就業経験等を経た卒業(修了)生からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	検証1	卒業(修了)後、一定年限を経過した卒業(修了)生についての意見聴取を行う手順を策定していますか？ ○:部局独自の取組を行っている又は全学の取組に協力している ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
		検証2	卒業(修了)生から意見聴取を行い、対応策を検討していますか？ ○:部局独自の取組を行っている又は全学の取組に協力している ×:いいえ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
6-8-5	就職先等からの意見聴取の結果により、大学等の目的及び学位授与方針に則した学習成果が得られていること	検証1	就職先や進学先等の関係者への意見聴取を行う手順を作成していますか？ ○:はい ×:いいえ -:現実的に意見聴取が難しい場合等	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○		○	○	○	○	
		検証2	就職先や進学先等の関係者への意見聴取を行い、対応策を検討していますか？ ○:はい ×:いいえ -:現実的に意見聴取が難しい場合等	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○		○	○	○	○	



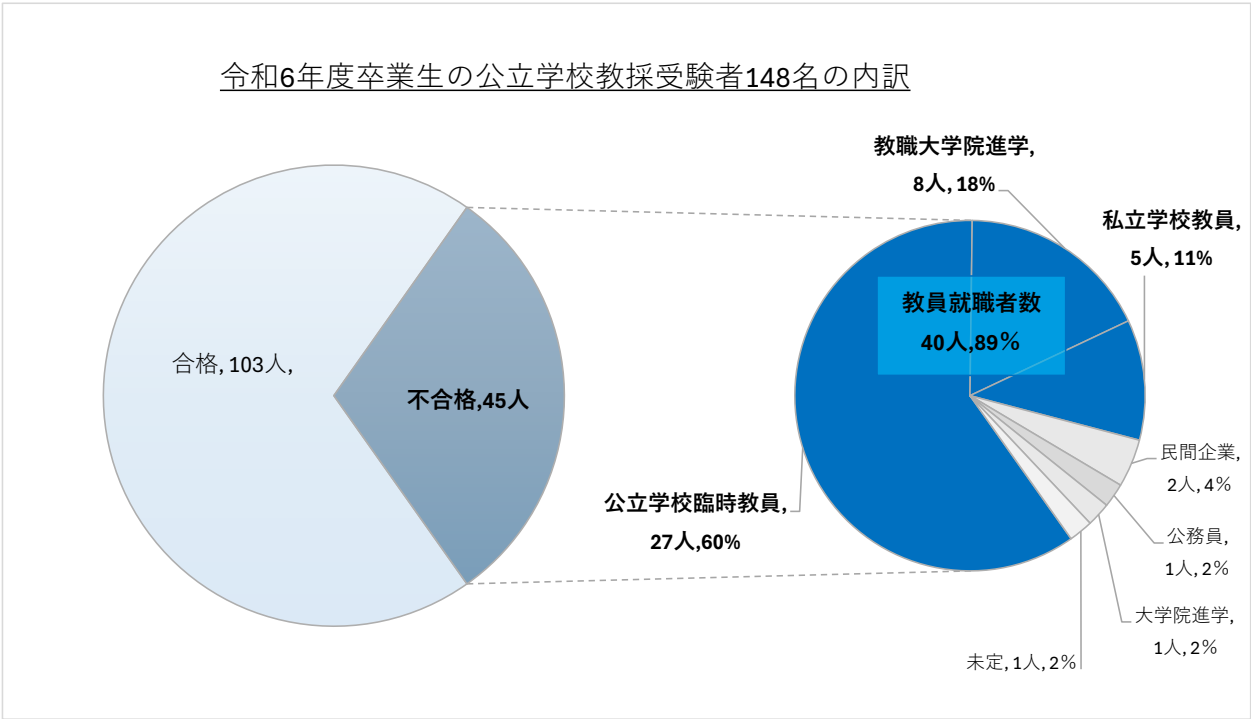
番号	部局名	記載事項
1-2-2	工学部	新規採用教員において新任の女性教員に研究支援を行っている
6-2-2	連合農学研究科	令和6年度第11回連合農学研究科代議員会（令和6年12月17日開催）にて、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシーの変更を諮り承認された。令和7年4月入学生より適用。
6-3-1	自然科学技術研究科	大学院においては個々の専門性を高める教育に重点を置いているため、学部のように専攻や領域単位での教育に関する体系をカリキュラムマップの形で示すことは困難である。しかし、どの科目が本専攻共通の科目か、より専門的な科目はどの科目かが理解できるように、各授業は科目区分で分けている。また、学生に配布している“履修案内”には、専攻毎の科目区分ごとに授業科目が明示されているとともに、単位表や修了に必要な単位数を明示し、履修する学生に教育課程の編成が理解できるようにしている。
6-4-2 6-4-3 6-4-4	教育学部	教学委員会や教育改善室会議にて成績評価分布等を確認している。
	地域科学部	一人8コマの担当を基準としているので、学部構成員の不足により、平均を超えることがある。
	看護学科	複数名で、授業を担当するため担当コマ数が多くなっている。実習は基礎実習は2クール、領域実習は8クールあり、B8-1、2のとおり別で確認している。
	工学部 工学研究科 自然科学技術研究科	教員一人あたりのコマ数の設定は行っていない。 学生教員比の設定は行っていない。
	連合農学研究科	博士課程学生を担当する教員にのみ授業負担が生じるため、年度によって負担はかなり異なる。
6-5-1 6-5-2	教育学部	【教職志向を維持させ続ける学生支援について】 ・教育実習から教員採用試験までの一貫した学生支援を行う学部組織（校長経験者で構成される教職サポート室や学部（全講座）の教員からなる教職サポート委員会）のもと、県内各教育事務所及び市町村教育委員会と連絡体制を構築し、 ①教員採用試験二次試験の合格発表直前（8月）に臨時的任用職員（常勤講師）登録制度についての説明会を実施している。 ②教員採用試験後（一次試験合格発表後の7月、二次試験合格発表後の8月）に合格しなかった全学生に対して臨時的任用職員（常勤講師）に関する個別指導・面談を実施し、県内各教育事務所、市町村教育委員会と連絡を密にとり、積極的に登録を促している。
	応用生物科学部	・学生からの要望による履修指導や学習相談には教員（1～3年生はクラス担任、4年生以降は指導教員、又は教学委員）や学務係がその都度応じている。また、面談による修学指導が必要な事柄に関しては複数人にて協議・立ち合いのもと行っている。オフィスアワーについては一覧を作成し、学部内掲示板および学務情報システム（WEB）にて学生に周知している。 ・授業担当教員や指導教員が学生の履修状況（欠席・課題の提出状況）について「学修支援チェックシート」を作成し、教学委員（教学委員から各課程・学科にて教員間にて共有）・学務係にて共有し、学生指導を行っている。年度末にはこれらをデータベース化し、学生の相談件数・内容を共有している。
	連合創薬医療情報研究科	4月および10月にガイダンスを行い、希望者には教務厚生委員長による個別面談を実施している。また、希望者には随時、個別面談を実施している。
6-6-2 6-7-1 6-7-3 6-7-4	医学部医学科	授業案内（電子版をwebで公開）への掲載、新入生ガイダンスでの説明。
	共同獣医学研究科	入学時に配布する学生便覧に明記している。便覧はTACTにも掲載し、常時閲覧可能な状態にしている。
6-8-5	教育学部	毎年、9月に小学校教育実習、11月に中学校教育実習を行っているが、実習校を訪問した際、実習校に現職として務めている卒業後1～3年経過した者の勤務の様子について、校長等学校管理職にヒアリングを行っている。
	応用生物科学部	本学部における4月開催の公務員フェア及び3月開催の民間企業展において、官公庁・団体、民間企業における本学学生に関するアンケートを実施している。
	連合農学研究科	本研究科設置のインダストリー部会において、関連企業から意見を聴取する仕組みを有している。留学生に関しては教育コンソーシアムIC-GU12を通じて意見を聴取する仕組みを有している。

	前期						後期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
教員採用試験	各県願書受付開始 大学推薦受付開始 岐阜県出願(3/26~4/30頃) 愛知県出願(4/26~5/10頃) 名古屋市出願(4/19~5/8頃)	岐阜県受験番号通知 (5/31頃)	名古屋・愛知受験番号通知 (6/3頃)	岐阜県：1次合格発表 (7/5頃) 3県：2次試験 (7/20頃)	合格発表：岐阜県 (8/27頃) 愛知県8/30頃・名古屋市8/23頃	各県市 講師募集～3月	岐阜県合格者意志確認提出 (10/10)		合格者の進路迷い・変更は12月1週目までに学務係へ連絡 ・岐阜県教採説明会 (予定)	・岐阜県教委：先生のみりょく大発表会 (予定)		勤務校決定通知 ・岐阜県出願説明会 (予定)
岐阜大学教育学研究科入試 ①1次募集 ②2次募集					①大学院出願 (8/26~9/4)	①大学院試験(9/21~22頃)	①大学院合格発表(10/3)		(兵庫教育大学博士課程出願開始)		(兵庫教育大学博士課程合否) ①大学院入学手続(2/19頃) ②大学院2次試験(2月初旬) 大学院2次合格発表(2月末)	②大学院入学手続(3月中旬)
教職サポート室	・第1回模擬面接 (4/18~25 ・第1回模擬面接後の個別指 ・合同グループ学習会 ・1次試験論文対策/教育時事	・第2回模擬面接 (5/16~23) ・2次試験用論文対策 ・小学校模擬授業対策 ・個人模擬面接	・直前グループ学習会 ・2次試験用論文対策 ・小学校模擬授業対策 ・個人模擬面接	・プレゼン/場面指導練習 ・中学校模擬授業練習 (岐阜県1次結果調査)	(2次合否結果調査) ・教採不合格者フォロー	・9/11「講師」説明会 (4年生)	・教員スタートガイダンス (4年生/全県内定者) ・リサーチ事後指導で説明 (2年生)	・教員採用スタートガイダンス (3年生) ・学習会スタートガイダンス (3年生) ・学習会1次対策 (2年生)	・グループ学習会 (3年生) ・各県市教採説明会 (2.3年生,M1M2)	・岐阜県出願説明会 (2.3年生) ・模擬授業対策 (4年生が3年生に教える)		
教職サポート委員会	・第1回模擬面接副面接官 ・大学推薦審議 ・学習会サポート (小論文) ・就職対策企画 (各講座4月~12月までに2回)	・第2回模擬面接副面接官 (就職対策企画前期分6月末締切)	・3年生1次合否速報	・教採合否結果速報	・教採不合格者の進路フォロー (就職対策企画後期分9月末締切)						学習会サポート (模擬授業対策)	
進路調査 (Formsアンケート)	・1年生入学時進路希望	・2年生リサーチ前進路希望 ・3年生プラクティス前進路希望・出願状況 ・4年生進路志望調査(出願時)		・3年生1次合否報告 ・4年生1次合否報告+体験報告	・4年生2次合否報告+体験報告		4年生進路決定報告 (10月~3月まで)	・2年生リサーチ後進路希望調査	・3年生プラクティス後/進路・学習会・インターン希望調査			

公立学校教採受験者数148名

R7年度採用可否結果      人数

合格	103
不合格	45
公立学校臨時教員	27
教職大学院進学	8
私立学校教員	5
民間企業	2
公務員	1
大学院進学	1
未定	1



認証評価共通基礎データ様式【改正後基準】【大学(専門職大学含む)用】様式2(令和7年10月1日現在)

学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に対する平均比率	備考				
教育学部	学校教育課程 教員養	志願者数	446	707	513	553	494	105%					
		合格者数	237	243	243	241	241						
		入学者数(A)	224	234	232	232	234						
		入学定員(B)	220	220	220	220	220						
		入学定員充足率(A/B)	102%	106%	105%	105%	106%						
		在籍学生数(C)	975	977	968	962	956						
		収容定員(D)	930	920	910	880	880						
		収容定員充足率(C/D)	105%	106%	106%	109%	109%						
	特別養成課程 学校教	志願者数							R2年度募集停止				
		合格者数											
		入学者数(A)											
		入学定員(B)											
		入学定員充足率(A/B)											
		在籍学生数(C)	43	24	2	1							
		収容定員(D)	40	20									
		収容定員充足率(C/D)	108%	120%									
教育学部 合 計			446	707	513	553	494	105%					
			合格者数	237	243	241	241						
			入学者数(I)	224	234	232	232						
			入学定員(J)	220	220	220	220						
			入学定員充足率(I/J)	102%	106%	105%	105%						
			在籍学生数(K)	1,018	1,001	970	963						
			収容定員(L)	970	940	910	880						
			収容定員充足率(K/L)	105%	106%	107%	109%						
地域科学部	地域文化政策学 学科	志願者数	664	585	425	389	385	103%	学科の区分をしないで入試を実施				
		合格者数	111	115	111	109	112						
		入学者数(A)	102	102	104	102	105						
		入学定員(B)	100	100	100	100	100						
		入学定員充足率(A/B)	102%	102%	104%	102%	105%						
		在籍学生数(C)	450	458	456	450	448						
		収容定員(D)	420	420	420	420	420						
		収容定員充足率(C/D)	107%	109%	109%	107%	107%						
		地域科学部 合 計			664	585	425			389	385	103%	
					合格者数	111	115			111	109	112	
医学部	医学科	志願者数	1,577	918	702	307	288	100%					
		合格者数	117	111	112	111	112						
		入学者数(A)	112	107	110	111	111						
		入学定員(B)	110	110	110	110	110						
		入学定員充足率(A/B)	102%	97%	100%	101%	101%						
		在籍学生数(C)	666	649	652	650	651						
		収容定員(D)	660	660	660	660	660						
		収容定員充足率(C/D)	101%	98%	99%	98%	99%						
	看護学科	志願者数	370	358	378	339	369	101%					
		合格者数	84	83	82	85	84						
		入学者数(E)	80	83	80	80	80						
		入学定員(F)	80	80	80	80	80						
		入学定員充足率(E/F)	100%	104%	100%	100%	100%						
		在籍学生数(G)	321	325	323	321	324						
		収容定員(H)	320	320	320	320	320						
		収容定員充足率(G/H)	100%	102%	101%	100%	101%						
医学部 合 計			1,947	1,276	1,080	646	657	100%					
			合格者数	201	194	196	196						
			入学者数(I)	192	190	190	191						
			入学定員(J)	190	190	190	190						
			入学定員充足率(I/J)	101%	100%	100%	101%						
			在籍学生数(K)	987	974	975	971						
			収容定員(L)	980	980	980	980						
			収容定員充足率(K/L)	101%	99%	99%	99%						
工学部	社会基盤工学科	志願者数	230	411	248	208	261	102%	R3～7年度 社会システム経営 学環分の定員を含まない				
		合格者数	69	65	68	65	64						
		入学者数(A)	62	60	62	60	63						
		入学定員(B)	60	60	60	60	60						
		入学定員充足率(A/B)	103%	100%	103%	100%	105%						
		在籍学生数(C)	284	284	271	265	271						
		収容定員(D)	250	260	260	260	260						
		収容定員充足率(C/D)	114%	109%	104%	102%	104%						
	機械工学科	志願者数	551	687	577	597	681	104%	R3～7年度 社会システム経営 学環分の定員を含まない				
		合格者数	149	146	148	148	142						
		入学者数(E)	131	133	140	142	133						
		入学定員(F)	130	130	130	130	130						
		入学定員充足率(E/F)	101%	102%	108%	109%	102%						
		在籍学生数(G)	581	581	588	584	590						
		収容定員(H)	530	540	540	540	540						
		収容定員充足率(G/H)	110%	108%	109%	110%	109%						
	化学・科生命工	志願者数	549	797	565	587	735	101%	R3～7年度 社会システム経営 学環分の定員を含まない				
		合格者数	179	171	167	176	168						
		入学者数(E)	150	156	150	154	148						
		入学定員(F)	150	150	150	150	150						
		入学定員充足率(E/F)	100%	104%	100%	103%	99%						
		在籍学生数(G)	640	640	632	623	617						
		収容定員(H)	602	604	604	604	604						
		収容定員充足率(G/H)	106%	106%	105%	103%	102%						
	電気電子学・科・情	志願者数	766	1,009	684	765	742	102%	R3～7年度 社会システム経営 学環分の定員を含まない				
		合格者数	185	186	187	188	204						
		入学者数(E)	171	177	171	174	192						
		入学定員(F)	170	170	170	170	190						
		入学定員充足率(E/F)	101%	104%	101%	102%	101%						
		在籍学生数(G)	745	745	742	735	770						
		収容定員(H)	688	696	696	696	716						
		収容定員充足率(G/H)	108%	107%	107%	106%	108%						
工学部 合 計			2,096	2,904	2,074	2,157	2,419	102%					
			合格者数	582	568	570	577	578					
			入学者数(I)	514	526	523	530	536					
			入学定員(J)	510	510	510	510	530					
			入学定員充足率(I/J)	101%	103%	103%	104%	101%					
			在籍学生数(K)	2,250	2,250	2,233	2,217	2,248					
			収容定員(L)	2,070	2,100	2,100	2,100	2,120					
			収容定員充足率(K/L)	109%	107%	106%	106%	106%					

＜編入入学＞								
学部名	学科名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備 考
地域科学部	地域政策学科 地域文化学科	入学者数(2年次)						学科の区分をしないで入試を実施
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	11	11	8	10	10	
		入学定員(3年次)	10	10	10	10	10	
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
地域科学部 合 計		入学者数(2年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(2年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(3年次)	11	11	8	10	10	
		入学定員(3年次)	10	10	10	10	10	
		入学者数(4年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(4年次)	0	0	0	0	0	
工学部	社会基盤工学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	15	14	9	6	12	
		入学定員(3年次)	10	10	10	10	10	
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
	機械工学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	11	17	11	10	11	
		入学定員(3年次)	10	10	10	10	10	
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
	化学・生命工学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
		入学者数(3年次)	2	3	1	1	1	
		入学定員(3年次)	2	2	2	2	2	
		入学者数(4年次)						
		入学定員(4年次)						
	電気電子・情報工学科	入学者数(2年次)						
		入学定員(2年次)						
入学者数(3年次)		9	9	4	5	4		
入学定員(3年次)		8	8	8	8	8		
入学者数(4年次)								
入学定員(4年次)								
工学部 合 計		入学者数(2年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(2年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(3年次)	37	43	25	22	28	
		入学定員(3年次)	30	30	30	30	30	
		入学者数(4年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(4年次)	0	0	0	0	0	
		入学者数(5年次)	0	0	0	0	0	
		入学定員(5年次)	0	0	0	0	0	

応用生物科学部	応用生命科学課程	入学者数(2年次)							
		入学定員(2年次)							
		入学者数(3年次)	5	5	4	3	1		
		入学定員(3年次)	5	5	5	5	5		
		入学者数(4年次)							
		入学定員(4年次)							
	生産環境科学課程	入学者数(2年次)							
		入学定員(2年次)							
		入学者数(3年次)	5	4	3	5	1		
		入学定員(3年次)	5	5	5	5	5		
		入学者数(4年次)							
		入学定員(4年次)							
応用生物科学部 合計	入学者数(2年次)	0	0	0	0	0			
	入学定員(2年次)	0	0	0	0	0			
	入学者数(3年次)	10	9	7	8	2			
	入学定員(3年次)	10	10	10	10	10			
	入学者数(4年次)	0	0	0	0	0			
	入学定員(4年次)	0	0	0	0	0			

研究科 科名	専攻 名	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	入学定員に 対する平均比率	備 考		
教育学研究科	教育 専攻 (M)	志願者数		27	23	19	24		105%	R4年度改組に より新設	
		合格者数		10	10	8	11				
		入学者数(A)		5	5	4	7				
		入学定員(B)		5	5	5	5				
		入学定員充足率(A/B)		100%	100%	80%	140%				
		在籍学生数(C)		6	11	9	12				
		収容定員(D)		5	10	10	10				
		収容定員充足率(C/D)		120%	110%	90%	120%				
	心理 発達 支援 専攻 (M)	志願者数	34							120%	R4年度改組に より募集停止
		合格者数	19								
		入学者数(A)	12								
		入学定員(B)	10								
		入学定員充足率(A/B)	120%								
		在籍学生数(C)	20	13	1						
		収容定員(D)	20	10							
		収容定員充足率(C/D)	100%	130%							
	総合 教科 教育 専攻 (M)	志願者数	56							124%	R4年度改組に より募集停止
		合格者数	48								
		入学者数(A)	42								
		入学定員(B)	34								
		入学定員充足率(A/B)	124%								
		在籍学生数(C)	82	45	6						
		収容定員(D)	68	34							
		収容定員充足率(C/D)	121%	132%							
教育学研究科 合 計		志願者数	90	27	23	19	24		109%		
		合格者数	67	10	10	8	11				
		入学者数(I)	54	5	5	4	7				
		入学定員(J)	44	5	5	5	5				
		入学定員充足率(I/J)	123%	100%	100%	80%	140%				
		在籍学生数(K)	102	64	18	9	12				
		収容定員(L)	88	49	10	10	10				
		収容定員充足率(K/L)	116%	131%	180%	90%	120%				
地域科学 研究科	地域 政策 専攻 (M)	志願者数	6	11	5	0	1		20%	R7年度 社会システム経営 学院分の定員を含 まない	
		合格者数	4	5	4	0	0				
		入学者数(A)	3	5	4	0	0				
		入学定員(B)	12	12	12	12	12				
		入学定員充足率(A/B)	25%	42%	33%	0%	0%				
		在籍学生数(C)	6	10	10	6	3				
		収容定員(D)	24	24	24	24	24				
		収容定員充足率(C/D)	25%	42%	42%	25%	13%				
	地域 文化 専攻 (M)	志願者数	18	11	16	15	10		130%		
		合格者数	14	10	12	13	7				
		入学者数(E)	14	8	10	13	7				
		入学定員(F)	8	8	8	8	8				
		入学定員充足率(E/F)	175%	100%	125%	163%	88%				
		在籍学生数(G)	26	25	23	25	22				
		収容定員(H)	16	16	16	16	16				
		収容定員充足率(G/H)	163%	156%	144%	156%	138%				
地域科学研究科 合 計		志願者数	24	22	21	15	11		64%		
		合格者数	18	15	16	13	7				
		入学者数(I)	17	13	14	13	7				
		入学定員(J)	20	20	20	20	20				
		入学定員充足率(I/J)	85%	65%	70%	65%	35%				
		在籍学生数(K)	32	35	33	31	25				
		収容定員(L)	40	40	40	40	40				
		収容定員充足率(K/L)	80%	88%	83%	78%	63%				
医学系研究科	医科学 専攻 (D)	志願者数	42	53	53	59	46		98%		
		合格者数	38	53	51	55	41				
		入学者数(A)	38	53	48	53	38				
		入学定員(B)	47	47	47	47	47				
		入学定員充足率(A/B)	81%	113%	102%	113%	81%				
		在籍学生数(C)	202	211	229	244	245				
		収容定員(D)	188	188	188	188	188				
		収容定員充足率(C/D)	107%	112%	122%	130%	130%				
	再生 医科学 専攻 (D)	志願者数							R元年度募集 停止		
		合格者数									
		入学者数(A)									
		入学定員(B)									
		入学定員充足率(A/B)									
		在籍学生数(C)	6	4	2						
		収容定員(D)									
		収容定員充足率(C/D)									
	看護学 専攻 (M)	志願者数	8	9	8	9	10		93%		
		合格者数	8	9	7	8	7				
		入学者数(E)	8	8	6	8	7				
		入学定員(F)	8	8	8	8	8				
		入学定員充足率(E/F)	100%	100%	75%	100%	88%				
		在籍学生数(G)	19	23	18	17	20				
		収容定員(H)	16	16	16	16	16				
		収容定員充足率(G/H)	119%	144%	113%	106%	125%				
	医療者 教育 専攻 (M)	志願者数	14	14	12	14	13		103%	R2年度新設	
		合格者数	6	6	7	6	6				
		入学者数(E)	6	6	7	6	6				
		入学定員(F)	6	6	6	6	6				
		入学定員充足率(E/F)	100%	100%	117%	100%	100%				
		在籍学生数(G)	12	12	13	13	12				
		収容定員(H)	12	12	12	12	12				
		収容定員充足率(G/H)	100%	100%	108%	108%	100%				
医学系研究科 合 計		志願者数	64	76	73	82	69		98%		
		合格者数	52	68	65	69	54				
		入学者数(I)	52	67	61	67	51				
		入学定員(J)	61	61	61	61	61				
		入学定員充足率(I/J)	85%	110%	100%	110%	84%				
		在籍学生数(K)	239	250	262	274	277				
		収容定員(L)	216	216	216	216	216				
		収容定員充足率(K/L)	111%	116%	121%	127%	128%				

工学研究科	工学専攻 (D)	志願者数	44	12	15	13	21		77%	R元年度改組
		合格者数	35	11	15	13	21			
		入学者数(A)	33	11	15	11	18			
		入学定員(B)	23	23	23	23	23			
		入学定員充足率(A/B)	143%	48%	65%	48%	78%			
		在籍学生数(C)	82	90	96	100	97			
		収容定員(D)	69	69	69	69	69			
	機能工学専攻 (D)	収容定員充足率(C/D)	119%	130%	139%	145%	141%			
		志願者数	3	1	0	2	1		70%	R元年度新設
		合格者数	3	1	0	2	1			
		入学者数(E)	3	1	0	2	1			
		入学定員(F)	2	2	2	2	2			
		入学定員充足率(E/F)	150%	50%	0%	100%	50%			
		在籍学生数(G)	6	7	7	9	7			
	専攻 (D)	収容定員(H)	6	6	6	6	6			
		収容定員充足率(G/H)	100%	117%	117%	150%	117%		100%	R元年度新設
		志願者数	2	2	2	2	2			
		合格者数	2	2	2	2	2			
		入学者数(E)	2	2	2	2	2			
		入学定員(F)	2	2	2	2	2			
		入学定員充足率(E/F)	100%	100%	100%	100%	100%			
	専攻 (M)	在籍学生数(G)	6	8	9	9	10			
		収容定員(H)	6	6	6	6	6			
		収容定員充足率(G/H)	100%	133%	150%	150%	167%			
	専攻 (M)	志願者数								H29年度募集停止
		合格者数								
		入学者数(E)								
		入学定員(F)								
		入学定員充足率(E/F)								
		在籍学生数(G)	1							
		収容定員(H)								
	専攻 (D)	収容定員充足率(G/H)								R元年度募集停止
		志願者数								
		合格者数								
		入学者数(E)								
		入学定員(F)								
		入学定員充足率(E/F)								
		在籍学生数(G)	19	9	8	6	3			
	専攻 (D)	収容定員(H)								R元年度募集停止
		収容定員充足率(G/H)								
		志願者数								
		合格者数								
		入学者数(E)								
		入学定員(F)								
		入学定員充足率(E/F)								
	専攻 (D)	在籍学生数(G)	2							R元年度募集停止
		収容定員(H)								
		収容定員充足率(G/H)								
		志願者数								
		合格者数								
		入学者数(E)								
		入学定員(F)								
	専攻 (D)	入学定員充足率(E/F)								R元年度募集停止
		在籍学生数(G)	6	3	1					
		収容定員(H)								
		収容定員充足率(G/H)								
		志願者数								
		合格者数								
		入学者数(E)								
	専攻 (D)	入学定員(F)								R元年度募集停止
		入学定員充足率(E/F)								
		在籍学生数(G)	6	4	2	1				
		収容定員(H)								
		収容定員充足率(G/H)								
		志願者数								
		合格者数								
		入学者数(E)								
		入学定員(F)								
		入学定員充足率(E/F)								
		在籍学生数(G)	6	4	2	1				
		収容定員(H)								
		収容定員充足率(G/H)								
自然科学技術研究科	工学研究科 合計		志願者数	49	15	17	17	24	78%	
			合格者数	40	14	17	17	24		
			入学者数(I)	38	14	17	15	21		
			入学定員(J)	27	27	27	27	27		
			入学定員充足率(I/J)	141%	52%	63%	56%	78%		
			在籍学生数(K)	128	121	123	125	117		
			収容定員(L)	81	81	81	81	81		
			収容定員充足率(K/L)	158%	149%	152%	154%	144%		
	専攻 (M)	志願者数	124	130	121	115	116		143%	
		合格者数	117	120	114	108	109			
		入学者数(A)	108	111	106	102	103			
		入学定員(B)	74	74	74	74	74			
		入学定員充足率(A/B)	146%	150%	143%	138%	139%			
		在籍学生数(C)	204	224	223	216	213			
		収容定員(D)	148	148	148	148	148			
	専攻 (M)	収容定員充足率(C/D)	138%	151%	151%	146%	144%		124%	R7年度社会システム経営学院分の定員を含まない
		志願者数	56	61	62	74	67			
		合格者数	53	55	60	65	56			
		入学者数(E)	47	47	52	59	55			
		入学定員(F)	42	42	42	42	42			
		入学定員充足率(E/F)	112%	112%	124%	140%	131%			
		在籍学生数(G)	93	100	110	121	117			
	専攻 (M)	収容定員(H)	84	84	84	84	84		121%	R7年度社会システム経営学院分の定員を含まない
		収容定員充足率(G/H)	111%	119%	131%	144%	139%			
		志願者数	46	30	45	42	53			
		合格者数	35	25	39	36	48			
		入学者数(E)	34	22	39	35	46			
		入学定員(F)	29	29	29	29	29			
		入学定員充足率(E/F)	117%	76%	134%	121%	159%			
	専攻 (M)	在籍学生数(G)	69	57	65	79	85		139%	
		収容定員(H)	58	58	58	58	58			
		収容定員充足率(G/H)	119%	98%	112%	136%	147%			
		志願者数	94	101	104	112	109			
		合格者数	85	91	96	106	105			
		入学者数(E)	79	87	93	102	104			
		入学定員(F)	67	67	67	67	67			
	専攻 (M)	入学定員充足率(E/F)	118%	130%	139%	152%	155%		123%	R7年度入学定員増(+10)
		在籍学生数(G)	166	168	180	195	209			
		収容定員(H)	134	134	134	134	134			
		収容定員充足率(G/H)	124%	125%	134%	146%	156%			
		志願者数	110	127	128	138	126			
		合格者数	100	109	107	111	112			
		入学者数(E)	91	104	105	104	106			
	専攻 (M)	入学定員(F)	81	81	81	81	91		118%	
		入学定員充足率(E/F)	112%	128%	130%	128%	116%			
		在籍学生数(G)	191	197	212	211	212			
		収容定員(H)	162	162	162	162	172			
		収容定員充足率(G/H)	118%	122%	131%	130%	123%			
		志願者数	105	112	105	103	97			
		合格者数	99	86	88	85	87			
	専攻 (M)	入学者数(E)	93	91	86	81	81		36%	R元年度新設
		入学定員(F)	72	72	72	72	72			
		入学定員充足率(E/F)	129%	113%	119%	118%	113%			
		在籍学生数(G)	168	174	170	173	167			
		収容定員(H)	144	144	144	144	144			
		収容定員充足率(G/H)	117%	121%	118%	120%	116%			
		志願者数	8	1	3	3	3			
	専攻 (M)	合格者数	8	1	3	3	3			
		入学者数(E)	8	1	3	3	3			
		入学定員(F)	10	10	10	10	10			
		入学定員充足率(E/F)	80%	10%	30%	30%	30%			
		在籍学生数(G)	15	16	19	20	19			
		収容定員(H)	20	20	20	20	20			
		収容定員充足率(G/H)	75%	80%	95%	100%	75%			

自然科学技術研究科 合 計		志願者数	543	562	568	587	571	127%	
		合格者数	497	487	507	514	520		
		入学者数(I)	460	453	484	490	498		
		入学定員(J)	375	375	375	375	385		
		入学定員充足率(I/J)	123%	121%	129%	131%	129%		
		在籍学生数(K)	906	936	979	1,015	1,018		
		収容定員(L)	750	750	750	750	760		
		収容定員充足率(K/L)	121%	125%	131%	135%	134%		
共同獣医学研究	共同獣医学専攻 (D)	志願者数	7	7	5	12	9	127%	R元年度新設
		合格者数	7	7	5	11	9		
		入学者数(A)	7	7	5	10	9		
		入学定員(B)	6	6	6	6	6		
		入学定員充足率(A/B)	117%	117%	83%	167%	150%		
		在籍学生数(C)	18	23	23	30	34		
		収容定員(D)	18	24	24	24	24		
		収容定員充足率(C/D)	100%	96%	96%	125%	142%		
共同獣医学研究科 合 計		志願者数	7	7	5	12	9	127%	
		合格者数	7	7	5	11	9		
		入学者数(I)	7	7	5	10	9		
		入学定員(J)	6	6	6	6	6		
		入学定員充足率(I/J)	117%	117%	83%	167%	150%		
		在籍学生数(K)	18	23	23	30	34		
		収容定員(L)	18	24	24	24	24		
		収容定員充足率(K/L)	100%	96%	96%	125%	142%		
連合獣医学研究	獣医学専攻 (D)	志願者数							R元年度募集停止
		合格者数							
		入学者数(A)							
		入学定員(B)							
		入学定員充足率(A/B)							
		在籍学生数(C)	17	9	4	3	2		
		収容定員(D)	6						
		収容定員充足率(C/D)	283%						
連合獣医学研究科 合 計		志願者数							
		合格者数							
		入学者数(I)							
		入学定員(J)							
		入学定員充足率(I/J)							
		在籍学生数(K)	17	9	4	3	2		
		収容定員(L)	6						
		収容定員充足率(K/L)	283%						



連合農学研究科	生物生産科学専攻 (D)	志願者数	10	13	6	14	6	114%	R3年度入学者9名のうちR2年度志願・合格者2名含む	
		合格者数	7	9	6	13	4			
		入学者数(A)	9	8	6	13	4			
		入学定員(B)	7	7	7	7	7			
		入学定員充足率(A/B)	129%	114%	86%	186%	57%			
		在籍学生数(C)	26	31	31	38	35			
	生物環境科学専攻 (D)	収容定員(D)	21	21	21	21	21	140%	R3年度入学者7名のうちR2年度志願・合格者3名含む	
		収容定員充足率(C/D)	124%	148%	148%	181%	167%			
		志願者数	5	9	8	10	9			
		合格者数	4	6	7	9	9			
		入学者数(E)	7	5	7	7	9			
		入学定員(F)	5	5	5	5	5			
	生物資源科学専攻 (D)	入学定員充足率(E/F)	140%	100%	140%	140%	180%	270%	R3年度入学者22名のうちR2年度志願・合格者4名含む R4年度入学者16名のうちR3年度志願・合格者1名含む	
		在籍学生数(G)	28	27	25	29	32			
		収容定員(H)	15	15	15	15	15			
		収容定員充足率(G/H)	187%	180%	167%	193%	213%			
		志願者数	22	20	17	15	21			
		合格者数	20	17	16	13	17			
	科学技術連携イノベーション専攻 (D)	入学者数(E)	22	16	15	12	16	80%	R4年度入学者3名のうちR3年度志願・合格者1名含む	
		入学定員(F)	2	2	2	2	2			
		入学定員充足率(E/F)	50%	150%	100%	100%	0%			
		在籍学生数(G)	4	7	9	9	5			
		収容定員(H)	6	6	6	6	6			
		収容定員充足率(G/H)	67%	117%	150%	150%	83%			
連合農学研究科合計		志願者数	41	44	33	41	36	164%		
合格者数	33	34	31	37	30					
入学者数(I)	39	32	30	34	29					
入学定員(J)	20	20	20	20	20					
入学定員充足率(I/J)	195%	160%	150%	170%	145%					
在籍学生数(K)	105	117	125	134	129					
連合創薬医療情報研究科	創薬科学専攻 (D)	収容定員(L)	60	60	60	60	60	113%		
		収容定員充足率(K/L)	175%	195%	208%	223%	215%			
		志願者数	2	3	2	4	8			
		合格者数	1	3	2	4	7			
		入学者数(A)	1	3	2	4	7			
		入学定員(B)	3	3	3	3	3			
	医療情報科学専攻 (D)	入学定員充足率(A/B)	33%	100%	67%	133%	233%	67%		
		在籍学生数(C)	7	8	9	13	18			
		収容定員(D)	9	9	9	9	9			
		収容定員充足率(C/D)	78%	89%	100%	144%	200%			
		志願者数	3	4	0	2	3			
		合格者数	3	4	0	2	3			
連合創薬医療情報研究科合計	創薬科学専攻 (D)	入学者数(E)	3	4	0	1	2	90%		
		入学定員(F)	3	3	3	3	3			
		入学定員充足率(E/F)	100%	133%	0%	33%	67%			
		在籍学生数(G)	15	15	13	11	11			
		収容定員(H)	9	9	9	9	9			
		収容定員充足率(G/H)	167%	167%	144%	122%	122%			
	社会システム経営学院	創薬科学専攻 (D)	志願者数	5	7	2	6	11	100%	R7年度新設
			合格者数	4	7	2	6	10		
			入学者数(I)	4	7	2	5	9		
			入学定員(J)	6	6	6	6	6		
			入学定員充足率(I/J)	67%	117%	33%	83%	150%		
			在籍学生数(K)	22	23	22	24	29		
社会システム経営学院合計		収容定員(L)	18	18	18	18	18	100%		
		収容定員充足率(K/L)	122%	128%	122%	133%	161%			
		志願者数					9			
		合格者数					7			
		入学者数(A)					6			
		入学定員(B)					6			
教育学研究科	教職実践開発専攻 (P)	入学定員充足率(A/B)					100%	92%	R4年度改組により募集停止	
		在籍学生数(C)					6			
		収容定員(D)					6			
		収容定員充足率(C/D)					100%			
		志願者数	25							
		合格者数	23							
	教職実践開発専攻 (P)	入学者数(A)	23					96%	R4年度改組	
		入学定員(B)	25							
		入学定員充足率(A/B)	92%							
		在籍学生数(C)	53	25	1					
		収容定員(D)	50	25						
		収容定員充足率(C/D)	106%	100%						
教育学研究科合計	教職実践開発専攻 (P)	志願者数	43	39	50	44	95%			
		合格者数	36	35	49	41				
		入学者数(A)	35	33	47	39				
		入学定員(B)	40	40	40	40				
		入学定員充足率(A/B)	88%	83%	118%	98%				
		在籍学生数(C)	35	66	83	87				
	教育学研究科合計	収容定員(D)	40	80	80	80	95%			
		収容定員充足率(C/D)	88%	83%	104%	109%				
		志願者数	25	43	39	50			44	
		合格者数	23	36	35	49			41	
		入学者数(I)	23	35	33	47			39	
		入学定員(J)	25	40	40	40			40	

[注]

- 1 学生を募集している学部・学科(課程)、研究科・専攻、専攻科・別科等ごとに行を追加して作成してください。  
なお、学部・学科等を追加する場合は、直下に追加しないと集計値がずれてしまうので、注意して下さい。
- 2 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 3 学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載してください。
- 4 学部、学科、研究科・専攻等が完成年度に達していない場合、その旨を備考に記載してください。
- 5 募集定員が若干名の場合は、「0」と記載し、入学者数については実入学者数を記載してください。
- 6 入学定員充足率は、入学定員に対する入学者の割合、収容定員充足率は、収容定員に対する在籍学生数の割合としてください。
- 7 入学定員に対する平均比率は、過去5年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したものが自動計算されます。
- 8 最新年度の秋入学については別途確認します。
- 9 編入学の定員を設定している場合、上の表(＜編入学＞の表ではない方)の入学定員には、編入学の定員を加えないでください。
- 10 博士前期課程を看護課程として、博士後期課程を医学課程としている博士課程については、博士前期課程と博士後期課程にそれぞれ分けて記入してください。

# 参考資料 学生支援

令和6年度 学生支援の内部質保証に係る自己点検・評価シート

基準	学生に対して、生活や進路、課外活動、経済面での援助等に関する相談・助言、支援が行われていること
----	---

分析項目	点検事項	根拠資料（点検資料）	点検結果 (○、×)
学生の生活、健康、就職等進路に関する相談・助言体制及び各種ハラスメント等に関する相談・助言体制を整備していること	・生活支援等に関する総合的相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。	・教育推進・学生支援機構組織図 ・岐阜大学キャンパスライフヘルパー要項 ・キャンパスライフヘルパー相談内容	○
	・健康に関する相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。	・岐阜大学保健管理センター規程 ・岐阜大学保健管理センター障害学生支援室細則 ・岐阜大学保健管理センター年報 ・保健管理センター学生相談・精神科医相談に関する報告	○
	・就職等進路に関する相談・助言体制の整備及び支援の実績を確認する。	・岐阜大学職業紹介業務運営規程	○
	・各種ハラスメントに関する防止のための措置（規定及び実施内容）・相談の体制の整備及び相談実績を確認する。	・岐阜大学ハラスメント防止等に関する規程 ・ハラスメント外部相談窓口からの相談報告書	○
	・各種相談・助言体制については、組織の役割、実施組織の人的規模やバランス、組織間の連携や意思決定プロセス、責任の所在等が確認できる資料・データを用いて整備状況を確認する。	・キャンパスライフヘルパー一覧 ・就職担当教職員一覧	○
学生の部活動や自治会活動等の課外活動が円滑に行われるよう、必要な支援を行っていること	・課外活動の支援について、課外活動団体数、課外活動施設設備の整備、及び運営資金や備品貸与等の支援の状況を確認する。 ※大学が組織として支援すべき部活動等の範囲については、大学の判断による。ただし、あくまでも大学の組織的活動として分析することが必要。 ※課外活動団体等への支援実績を示す資料は、あくまでも大学の支援の実績であり、部等の活動実績そのものを評価するものではない。	・学生団体（全学行事団体・文化系・体育系・同好会）一覧 ・課外活動支援事業実施要項	○
留学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること	・留学生に対する生活支援の内容及び実施体制について確認する。	・外国人留学生ハンドブック ・岐阜大学外国人留学生チューター実施要項 ・岐阜大学国際交流会館規程 ・岐阜大学国際交流会館チューター実施要項 ・私費外国人留学生奨学金情報（HP）	○
障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援等を行う体制を整備し、必要に応じて生活支援等を行っていること	・障害のある学生その他特別な支援を行うことが必要と考えられる学生への生活支援の実施体制及び実施状況について、関係法令の趣旨を考慮して確認する。	・東海国立大学機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領 ・東海国立大学機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領における岐阜大学の留意事項 ・東海国立大学機構障害者差別解消委員会規程	○
	・対象となる学生が現在在籍していない場合でも、各大学固有の事情等に応じて生活支援を行うことのできる状況にあるかについて確認する。 ※施設・設備のバリアフリー化への対応については、基準4－1において確認する。	—	○
学生に対する経済面での援助を行っていること	・奨学金制度の整備状況と当該窓口の周知及び利用実績について確認する。	・岐阜大学HP「奨学金について」 ・応援奨学生支給調書	○
	・入学科・授業料免除、奨学金（給付、貸与）、学生寄宿舎等、各大学固有の事情等に応じて、学生の経済面の援助が行われているかについて確認する。	・岐阜大学授業料及び入学料免除等に関する選考基準実施要領 ・奨学団体別奨学生数 ・黒野寮入退寮状況	○

# 参考資料 情報

令和6年度 情報連携推進本部 内部質保証（自己点検）結果

評価項目（中項目）	評価項目（小項目）	評価指標	確認	根拠資料
教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること	教育研究活動を展開する上で必要なICT環境を整備し、それが有効に活用されていること	情報通信におけるコミュニケーションの重要性を踏まえつつ、教職員及び学生が授業内外において簡単にインターネットに接続できる環境の整備状況を含め、大学において編成された教育課程の遂行に必要なICT環境の整備状況や活用状況を確認する	<p>【1-1:教職員および学生が授業内外において簡単にインターネットに接続できる環境の整備状況】</p> <p>教職員ならびに学生が授業内外において簡単にインターネットに接続できる環境として、認証型のキャンパス情報ネットワークを整備している。このキャンパス情報ネットワークには、主に研究・業務での利用する有線ネットワークに加えて、無線での利用による「OpenLAN（主に学生用）」と「GuNetWiFi（主に教員用）」が整備されている。研究室に配属されていない学生は「OpenLAN」を利用することで個人の端末をインターネットに接続する環境が提供されている。</p> <p>【1-2:教育課程の遂行に必要なICT環境の整備状況】</p> <p>教育課程の遂行に必要なICT環境として、キャンパス基幹情報システムを整備している。このキャンパス基幹情報システムには、主に情報教育で利用する教育端末が含まれている。教育用端末は学内の複数箇所に設置されており、講義での利用の他、自己学習においても利用できる環境が整備されている。さらに、MS包括ライセンス契約の締結により、学生は無償でMS365サービスを利用することができる。なお、昨年度まで制限されていたMS365サービスで提供されるOneDriveへのアクセスについては、学生からの要望を受けOpenLAN環境からのアクセスを許可し、講義および学修活動における利用促進を図った。</p> <p>【1-3:教育課程の遂行に必要なICT環境の活用状況】</p> <p>教育用端末および「OpenLAN（主に学生用）」および「GuNetWiFi（主に教員用）」は、機構構成員全員に付与される機構アカウントによる認証をすることで利用可能となる仕組みが構築されている。また、この無線環境を利用するための無線アクセスポイントは、講義室を中心に全学に整備されている。</p>	<p>【1-1】</p> <p>資料1_国立大学法人情報系センター協議会 調査書5、2</p> <p>資料1_国立大学法人情報系センター協議会 調査書9、2</p> <p>【1-2】</p> <p>資料1_国立大学法人情報系センター協議会 調査書2、7</p> <p>資料2_教育端末設置場所について.PDF</p> <p>【1-3】</p> <p>資料3_無線AP設置場所</p>
		整備状況についてはICT環境の整備充実に向けた取り組みに加え、これらを維持・管理するためのメンテナンスやセキュリティ管理が行われているか確認する	<p>【2-1:ICT環境の整備充実に向けた取り組み】</p> <p>ICT環境の整備充実に向けて、政策経費、概算要求への申請を含めた取り組みを実施している。またR8年度更新予定のキャンパス情報ネットワークについては、費用対効果の観点から、調達に先立って資料招請を実施した。</p> <p>【2-2:維持・管理するためのメンテナンス】</p> <p>情報連携推進本部情報環境整備室において、キャンパス基幹情報システムおよびキャンパス情報システムの運用管理を実施している。リース契約であるキャンパス基幹情報システムは導入システムの保守業務が含まれており、買取契約であるキャンパス情報ネットワークは、年間の保守契約を別途締結し、安定運用のためのメンテナンスを実施している。</p> <p>【2-3:セキュリティ管理】</p> <p>情報連携推進本部情報管理対策室において、全学のセキュリティ管理を実施している。</p>	<p>【2-1】</p> <p>資料1_国立大学法人情報系センター協議会 調査書6、1、2、3、4</p> <p>資料4_日程表_2026情報機器更改</p> <p>【2-2】</p> <p>資料5_情報連携推進本部体制図</p> <p>資料6_保守業者者定例会議議事</p> <p>【2-3】</p> <p>資料5_情報連携推進本部体制図</p> <p>資料7_情報管理対策室会議議事</p>
		授業管理を支援するための統合化されたオンラインシステム等の学習支援環境の基盤のICT化が行われている場合は、その整備状況と活用の状況を確認する	<p>【3-1:オンラインシステム化された学習支援環境の整備状況】</p> <p>講義に限らず学修活動全般を支援するシステムとしての「学務情報システム」、学生の課外活動などの自主活動を支援するシステムとしての「学生ステータスシステム」が整備されている。講義を中心とした学習活動を支援する機構全体で利用するLMSとして「TACT」が整備されている。</p> <p>また、包括ライセンス契約に基づき利用可能な「TEMAS」による講義支援環境も整備されている。</p> <p>【3-2:オンラインシステム化された学習支援環境の活用状況】</p> <p>TACTおよびTeamsに関しては、学務情報システム（Campus-G）と連携し、開講科目ごとのサイト（TACT）あるいはクラス（Teams）が全科目作成されている。また、これらの学習支援環境へのアクセスは、情報館Webページなどから容易にアクセスが可能となっている。</p>	<p>【3-1】</p> <p><a href="https://www.imc.gifu-u.ac.jp/">https://www.imc.gifu-u.ac.jp/</a></p> <p><a href="https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/network/system.html">https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/network/system.html</a></p> <p>【3-2】</p> <p><a href="https://www.imc.gifu-u.ac.jp/">https://www.imc.gifu-u.ac.jp/</a></p> <p><a href="https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/network/system.html">https://www.gifu-u.ac.jp/campus_life/network/system.html</a></p>

## 別紙様式 2-3-1

## 基準 2-3 【重点評価項目】内部質保証が有効に機能していること

分析項目 2-3-1 自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること

## 【分析の手順】

・機関別内部質保証体制において決定された対応措置（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）の実施計画のすべてについて、成果、進捗、検討状況を確認する。

※確認された事項及び計画された取組については、各基準と関連付ける。

## ・計画等の進捗状況一覧（別紙様式 2-3-1）

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する 基準
年月	内容	根拠となる自己 点検評価結果等				
令和元年 9月	教育用端末の起動に時間がかかり、講義開始までにログイン出来ない。	教員および学生からの改善依頼	緊急対応（令和元年9月）として、端末起動時の動作を改修する。根本的には、法人統合後、全学情報システムの更新にて対応する。	情報連携推進本部 （情報環境整備室）	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	領域4 基準 4-1
令和2年 4月	オンライン会議時に遅延やフリーズが多発するため、業務に支障がでている。	職員からの改善依頼	事務端末で導入している VDI システムと Web 会議システムの親和性が原因のため、システムの大規模改修が必要である。緊急対応として、テレワークあるいはオンライン会議の利用に特化した端末を導入する（令和4年4月）。本格対応として、全学情報システムの更新に伴って、ゼロトラスト対応のノート型端末を整備する。	情報連携推進本部 （情報環境整備室）	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	領域4 基準 4-1

## 別紙様式 2 - 3 - 1

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する 基準
年月	内容	根拠となる自己 点検評価結果等				
令和 3 年 9 月	人事労務 Web サービスへのアクセスが非常に遅く、打刻できない。	職員からの情報提供	認証システムの仕様（認証経路）の問題であるため、認証システムを改修する。	情報連携推進本部 （情報環境整備室） 機構・情報連携統括本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 （ ）	領域 4 基準 4 - 1
令和 4 年 4 月	オンライン講義などの対応として、学内無線ネットワーク環境の充実を図る。	中期目標・中期計画の評価指標に基づく自己点検・評価	講義室を中心に無線 AP を整備する。	情報連携推進本部 （情報環境整備室）	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 （ ）	領域 4 基準 4 - 1
令和 4 年 9 月	事務の働き方改革を推進するため、テレワーク環境や学内の事務ネットワークを整備する必要がある。	働き方改革の推進	事務職員用 Surface Laptop の導入し、テレワーク環境を整える。事務ネットワークを整備し Web 会議に対応し、資料共有を最適化することにより、紙使用量削減も可能となる。 ゼロトラスト型の端末整備（令和 5 年 7 月）、事務端末専用無線ネットワークの構築（令和 5 年 9 月）、学外からのアクセス環境を整備（令和 5 年 9 月）する。	情報連携推進本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 （ ）	領域 4 基準 4 - 1
令和 5 年 11 月	セキュリティ体制の強化が必要である。	富山大学・岐阜大学で締結している連携協定	富山大学・岐阜大学で締結している連携協定に基づき、セキュリティ対策に関する体制等の相互監査を実施する。	情報連携推進本部 （情報管理対策室）	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 （ ）	領域 4 基準 4 - 1
令和 6 年	岐阜大学の内部質保証を推進する中核となる組織を構築	令和 6 年度評価室会議（第 4	岐阜大学全体の内部質保証を推進する中核となる組織として「内部質保証委員会」を設置し、学内の情報共有を図る。	経営企画課 教務課	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中	領域 2 基準 2

## 別紙様式 2-3-1

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する 基準
年月	内容	根拠となる自己 点検評価結果等				
7月	築し、内部質保証に係る自己点検・評価を実施する必要がある。	回)	各領域の責任副学長の下、内部質保証に係る自己点検・評価のガイドラインを策定し、自己点検・評価を令和6年度より実施する。	学術情報課 施設企画課 情報連携推進本部	<input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	－ 1
令和6 年 9月	法人文書を管理するためのストレージが整備されていない。	職員からの要望	現在、事務共有ストレージに法人文書ファイルを保管しているが、通常業務のために使用する領域が減少する。このため、事務共有ストレージの容量を増強する、あるいは法人文書管理用のストレージを整備するなどの対策を講じる。	情報連携推進本部 情報環境部情報システム運用課	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	領域4 基準 4 － 1
令和6 年 11月	セキュリティ研修の受講率が、設定した目標値に到達していない（特に学生）。	富山大学・岐阜大学間の相互監査	セキュリティ研修の受講率を向上させるための対策（システム構築、制度整備など）を講ずる。	情報連携推進本部 (情報管理対策室)	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	領域4 基準 4 － 1
令和6 年 11月	岐阜大学における内部質保証体制の改善に伴う情報の内部質保証に係る自己点検・評価に関するガイドラインを策定する	内部質保証体制の見直し	岐阜大学内部質保証基本方針及び岐阜大学内部質保証実施要項を新たに制定することに伴い、情報の内部質保証に係る自己点検・評価に関するガイドラインを制定する。	情報連携推進本部	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	基準 2 － 1

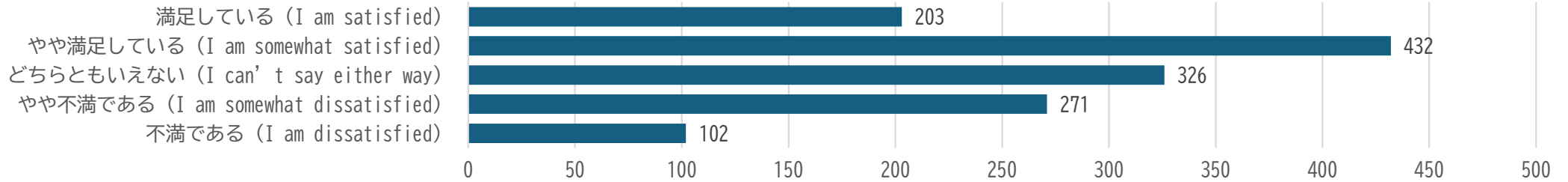
※指摘事項、意見など、自己点検・評価において、改善・向上が必要と確認された事項すべてについて記載する。

※年月の欄は、機関別内部質保証体制において、確認された年月を記載する。

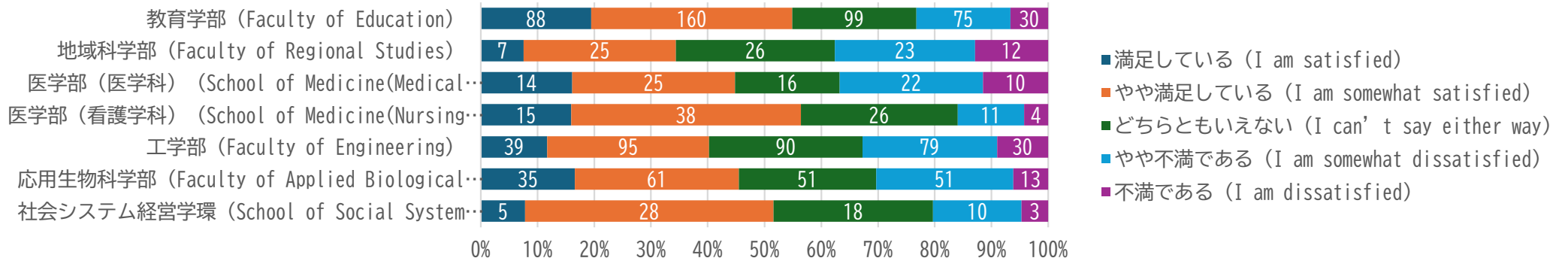
※関連する基準に関する分析及び判断との整合性に留意する。



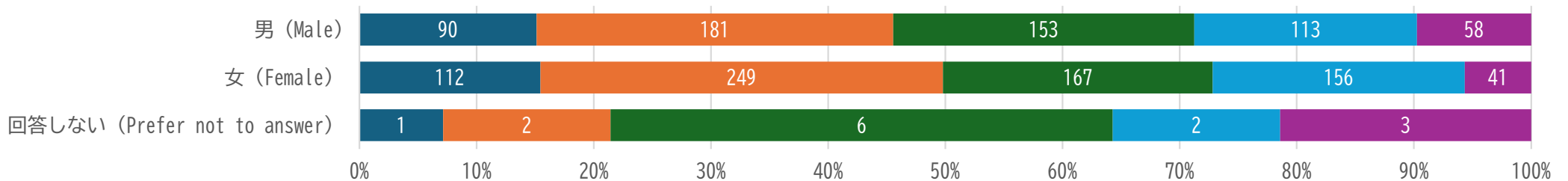
■ 47.6%は「満足している」又は「やや満足している」との回答。  
（前回2018年調査時は38.2%であり、上昇傾向が見られる。）



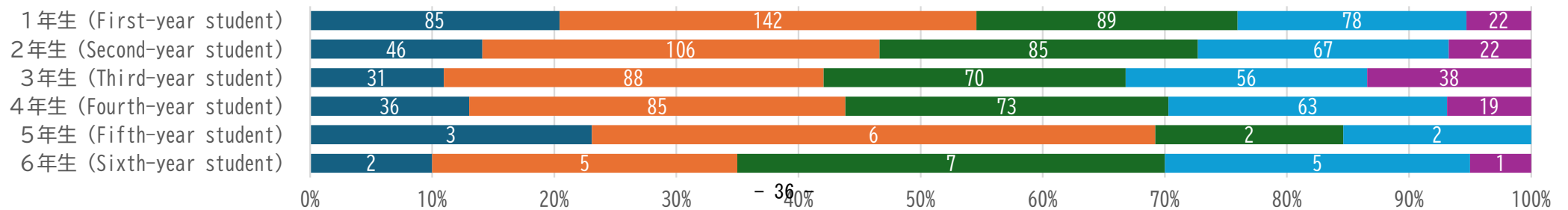
■ 学部等により満足度が異なる。



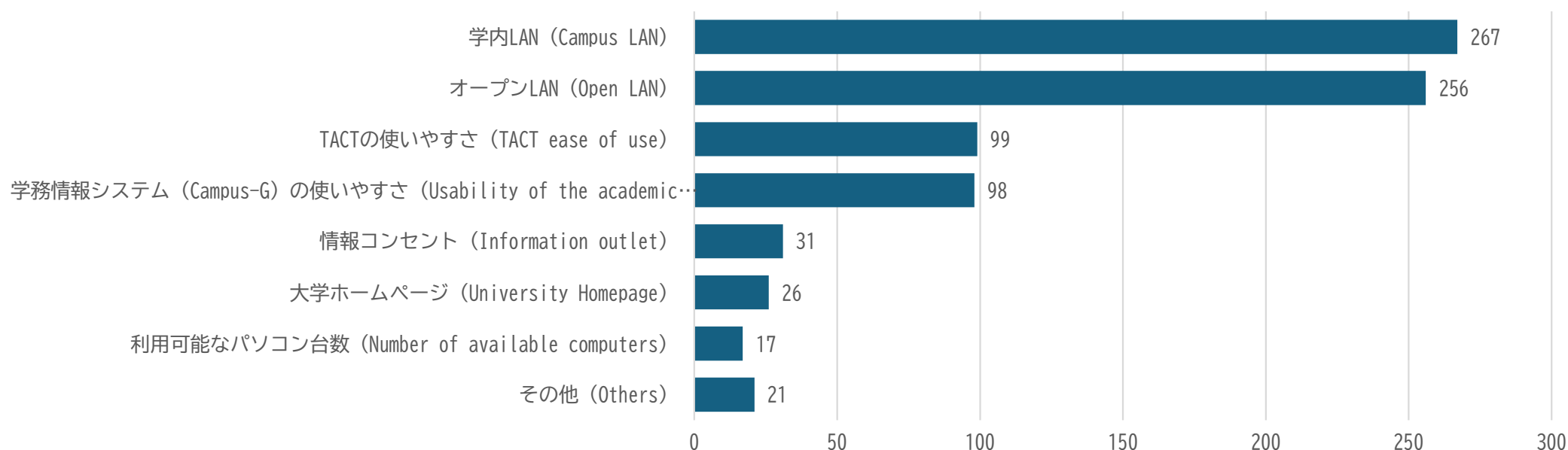
■ 「性別」による大きな違いは見られない。



■ 1～3年生については、学年が上がるごとに満足度が下がっている。



- 満足していないICT環境《複数回答》：「学内LAN」「オープンLAN」が多い。  
（前回2018年調査時も同様の傾向。）



# 参考資料 施設

施設及び設備(施設)の内部質保証に係る自己点検・評価報告書

別紙様式 4-1-3

岐阜大学

基準 4-1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4-1-3 施設・設備における安全性について、配慮していること

【分析の手順】

- ・施設・設備における耐震化については、評価実施年度の耐震化率を確認する。
- ・耐震基準を満たしていない場合は、その理由と改善のための計画について確認する。
- ・施設・設備の老朽化に対する対応の状況について確認する。
- ・外灯や防犯カメラの設置等、各大学固有の事情等に応じて安全・防犯面への配慮がなされていることを確認する。
- ・施設・設備のバリアフリー化について、障害のある学生等の利用者が円滑に利用できるよう配慮がなされていることを確認する。
- ・その他施設・設備に法令上の要件が課されている場合は、適切な管理運営の状況を確認する。

・施設・設備の耐震化、バリアフリー化等の整備状況（別紙様式 4-1-3）

事項	キャンパス	整備状況（※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載）	備考(整備不十分の場合の対応状況等)
耐震化	全キャンパス	建物の耐震化率は 100%である。(平成 25 年度)	
老朽化対策	全キャンパス	<p>「インフラ長寿命化計画」に基づき、キャンパスの老朽化対策を進めている。</p> <p>【大規模改修（老朽化対策）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育学部校舎 A 棟改修（東・中）</li> <li>・地域科学部・共通教育棟 D・E 棟改修</li> </ul> <p>【中規模改修（老朽化対策）】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流域圏科学研究センターの外壁改修</li> <li>・医学部本館等の空調設備改修 等</li> </ul>	

## 別紙様式 4－1－3

岐阜大学

事項	キャンパス	整備状況（※主要なキャンパスごとの耐震化率を記載）	備考（整備不十分の場合の対応状況等）
バリアフリー化	全キャンパス	各棟に必要なバリアフリー設備を設置している。 柳戸キャンパスにおいては、バリアフリーマップを公開して周知している。	公開アドレス： <a href="https://www1.gifu-u.ac.jp/~sisetubu/05construction/campusmap.html">https://www1.gifu-u.ac.jp/~sisetubu/05construction/campusmap.html</a>

## ・安全・防犯面への配慮の状況（別紙様式 4－1－3）

事項	キャンパス	配慮の状況
外灯の設置	全キャンパス	構内に必要な外灯を設置し、安全・防犯面へ配慮している。
防犯カメラの設置	全キャンパス	柳戸キャンパスでは、入構ゲートの監視用として計 13 台、加納キャンパスでは、計 16 台の防犯カメラを設置しており、安全・防犯面へ配慮している。

※評価結果…令和7年9月4日第2回施設マネジメント推進室会議にて、上記内容を審議した結果、全ての事項について問題なく実施できていることを確認した。

## 別紙様式 2 - 3 - 1

## 基準 2 - 3 【重点評価項目】内部質保証が有効に機能していること

分析項目 2 - 3 - 1 自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること

## 【分析の手順】

・機関別内部質保証体制において決定された対応措置（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）の実施計画のすべてについて、成果、進捗、検討状況を確認する。

※確認された事項及び計画された取組については、各基準と関連付ける。

## ・計画等の進捗状況一覧（別紙様式 2 - 3 - 1）

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
R7 年 9 月	令和 7 年度の自己点検・評価において、令和 6 年度の学生生活実態調査の結果を踏まえ、改善事項を検討する	・令和 6 年度学生生活実態調査結果	調査結果を踏まえ、不満件数および改善の難易度を考慮して優先順位を可視化した。この結果、老朽化対策である「インフラ長寿命化計画」に合致していることが確認されたため、当該計画に基づいて整備を進める。	施設マネジメント推進室	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 (        )	基準 4-1
R7 年 9 月	各部局等より、空調設備改修、防水改修、トイレ改修等、計 60 件の修繕要望があった。	・令和 7 年度施設修繕工事等計画書	要求された事業について、主たる内容に基づいて点数化を行い、必要性および優先度を評価する。	施設マネジメント推進室	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他	基準 4-1

## 別紙様式 2－3－1

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検評価結果等				
					( )	
					<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	

※指摘事項、意見など、自己点検・評価において、改善・向上が必要と確認された事項すべてについて記載する。

※年月の欄は、機関別内部質保証体制において、確認された年月を記載する。

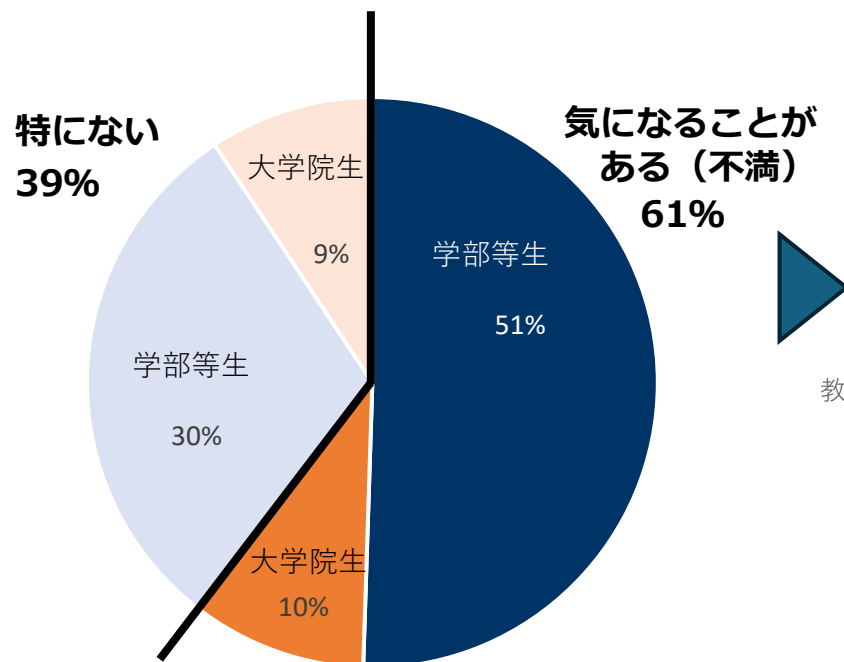
※関連する基準に関する分析及び判断との整合性に留意する。

学部等生・大学院生の総計：7,277名中 1,653名回答 回答率は22.7%

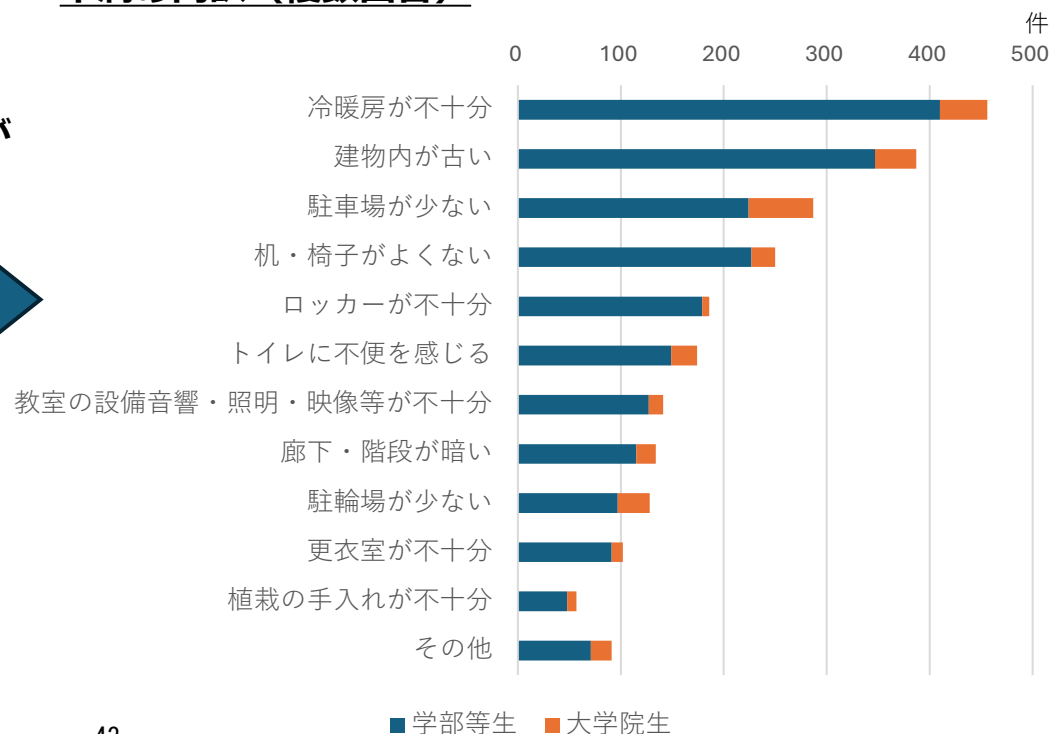
学部等名		学生数	回答者数	回答率
教育学部		957	452	47%
地域科学部		449	93	21%
医学部	医学科	650	87	13%
	看護学科	320	94	29%
工学部		2,211	333	15%
応用生物科学部		883	211	24%
社会システム経営学環		125	64	51%
計		5,595	1,334	24%

学部等名		学生数	回答者数	回答率
教育学研究科		92	25	27%
地域科学研究科		31	11	35%
医学系研究科		264	40	15%
工学研究科		115	31	27%
自然科学技術研究科		1,001	152	15%
共同獣医学研究科		30	20	67%
連合農学研究科		124	29	23%
連合獣医学研究科		3	2	67%
連合創薬医療情報研究科		22	9	41%
計		1,682	319	19%

## 施設利用で気になること



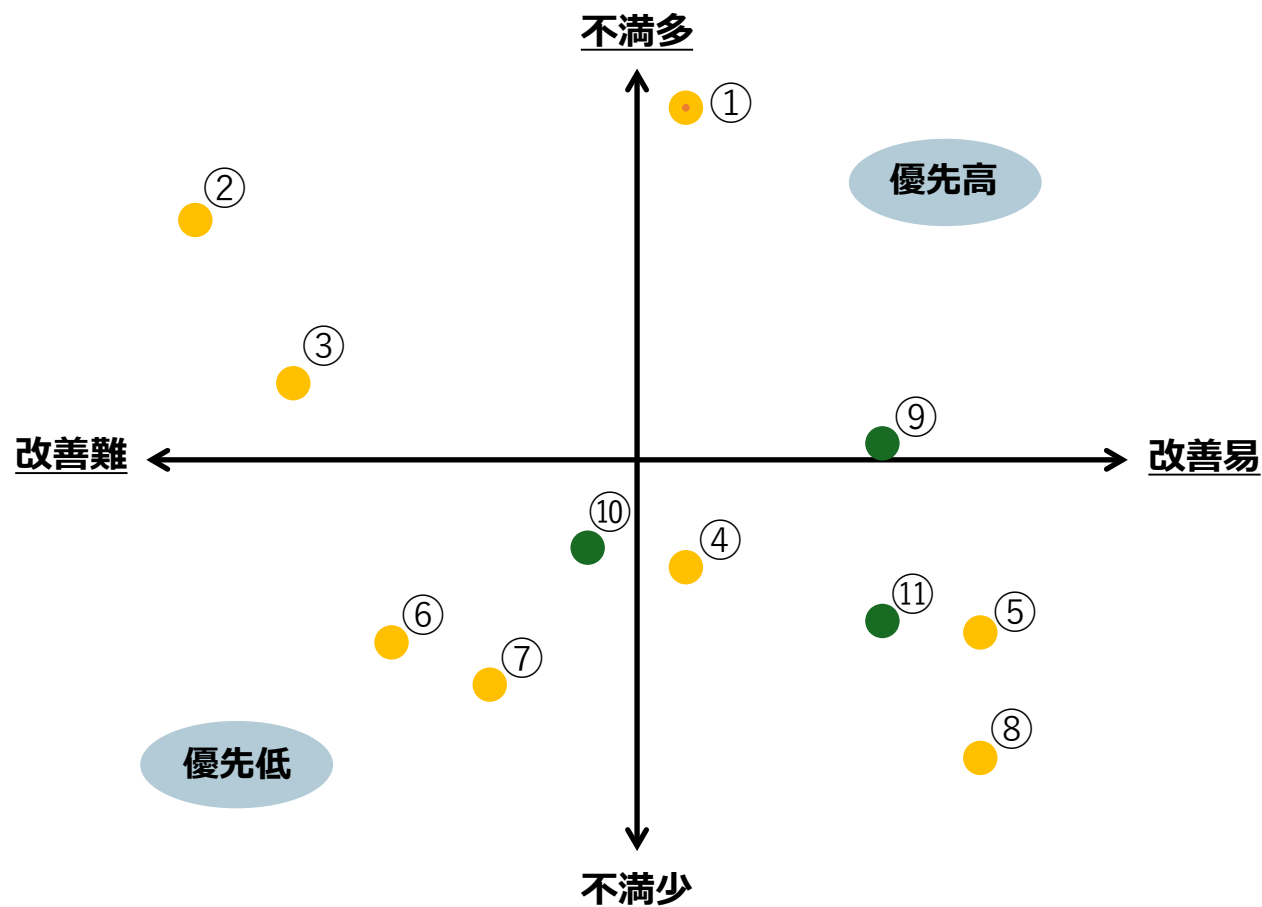
## 不満の内訳（複数回答）





## 不満の声に対する改善優先度マップ

改善難易：スペース確保の必要性、金額等を考慮



施設（建物・外構等）に関する項目

- ①冷暖房が不十分 456件
- ②建物内が古い 387件
- ③駐車場が少ない 287件
- ④トイレに不便を感じる 174件
- ⑤廊下・階段が暗い 134件
- ⑥駐輪場が少ない 128件
- ⑦更衣室が不十分 102件
- ⑧植栽の手入れが不十分 57件

物品等に関する項目

- ⑨机・椅子がよくない 250件
- ⑩ロッカーが不十分 186件
- ⑪教室の設備音響・照明 映像等が不十分 141件

## 対応方針

施設に関する項目のうち、最も優先度が高いのは「①冷暖房が不十分」、次に「②建物内が古い」であった。これらの項目は、いずれも「インフラ長寿命化計画」の整備対象に含まれており、「①冷暖房が不十分」は中規模改修、「②建物内が古い」は大規模改修として、それぞれ計画的に対応している。このことから、当該計画に基づいて整備を着実に進めることで、学生の不満解消につなげる。

# 参考資料 図書

## 大学機関別認証評価の分析項目（施設及び設備（図書）関連）による点検

<p><b>分析項目 4－1－5</b></p> <p>大学組織の一部としての図書館において、教育研究上必要な資料を利用可能な状態に整備し、有効に活用されていること</p> <p>【判断指針等】</p> <p>図書館を中心に図書等の資料が系統的に整備され、活用できる状態になっていることを確認する。</p> <p>【根拠資料・データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学術情報基盤実態調査（大学図書館編）（本館・医学図書館）</li> </ul> <p>【状況】</p> <p>本学には、図書館（本館）及び医学図書館の2つの図書館が設置され、それぞれ本学が有する各学部の専門性に即した図書資料を系統的に整備し、利用に供している。利用に際しては全資料が OPAC や Web ページから検索可能（電子媒体資料については閲覧も可能）であり、また Web 上の「MyLibrary」にて貸出予約・更新・文献複写受付、電子メールにてリクエスト受付等のサービスを提供しており、利用者にとって資料を活用しやすい環境を整えている。</p> <p>令和7年5月現在の各館の具体的な状況については、根拠資料の通りである（施設・設備、蔵書数、図書・雑誌受入数、サービス状況）。</p> <p>また令和6年度の特記事項として、医学図書館において年間購読制の電子ブックおよび診療データベースのトライアルを実施し、令和7年度から新たに導入した。</p> <p>【点検結果】満たしている</p>
---

## （関連項目）

<p><b>分析項目 4－1－6</b></p> <p>自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること</p> <p>【判断指針等】</p> <p>自主的学習環境の整備状況（部屋数、机、パソコン等の台数等）については、その環境を必要とする学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。</p> <p>※自主的学習環境の整備等、特色ある学習環境の構築により成果が得られている場合は、その内容について確認する。</p> <p>【別紙様式】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主的学習環境整備状況一覧（別紙様式 4－1－6）</li> </ul> <p>【状況】</p> <p>自主的学習環境の整備状況については、別紙様式の通りである。</p> <p>令和6年度の特記事項として、図書館本館のゾーニング変更が挙げられる。2階を会話可能な学修スペース、3階を静かに集中して学修するスペースと位置づけてフロアを整理し、図書資料を利用しやすく再配置した。結果として令和7年4月の本館の入館者数は前年同月比10%以上の増加となっており、活発な利用がうかがわれる。</p> <p>【点検結果】満たしている</p>
--

## 基準 4 - 1 教育研究組織及び教育課程に対応した施設及び設備が整備され、有効に活用されていること

分析項目 4 - 1 - 6 自習室、グループ討議室、情報機器室、教室・教育設備等の授業時間外使用等による自主的学習環境が十分に整備され、効果的に利用されていること

## 【分析の手順】

- ・自主的学習環境の整備状況（部屋数、机、パソコン等の台数等）については、その環境を必要とする学生が効果的に利用できるような状態になっていることを確認する。

※自主的学習環境の整備等、特色ある学習環境の構築により成果が得られている場合は、その内容について確認する。

## ・自主的学習環境整備状況一覧（別紙様式 4 - 1 - 6）

令和 7 年 4 月 1 日現在

名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
視聴覚コーナー	図書館	2 席	ビデオ、DVD、CD、カセットテープ、ブルーレイ、無線 LAN	図書館の開館時間に準ずる
教育用パソコン	図書館	37 席	教育用パソコン 35 台、マイクロフィルムリーダー、無線 LAN、有線 LAN: 1 席	図書館の開館時間に準ずる
閲覧席	図書館	309 席	無線 LAN、OPAC 用パソコン 5 台	図書館の開館時間に準ずる
ラーニングcommons 1, 2	図書館	96 席	無線 LAN、プロジェクター、スクリーン、ホワイトボード、デジタルホワイトボード、デジタル資料送信サービス用パソコン 1 台	図書館の開館時間に準ずる
プレゼンルーム	図書館	9 席	無線 LAN、プロジェクター、スクリーン	図書館の開館時間に準ずる

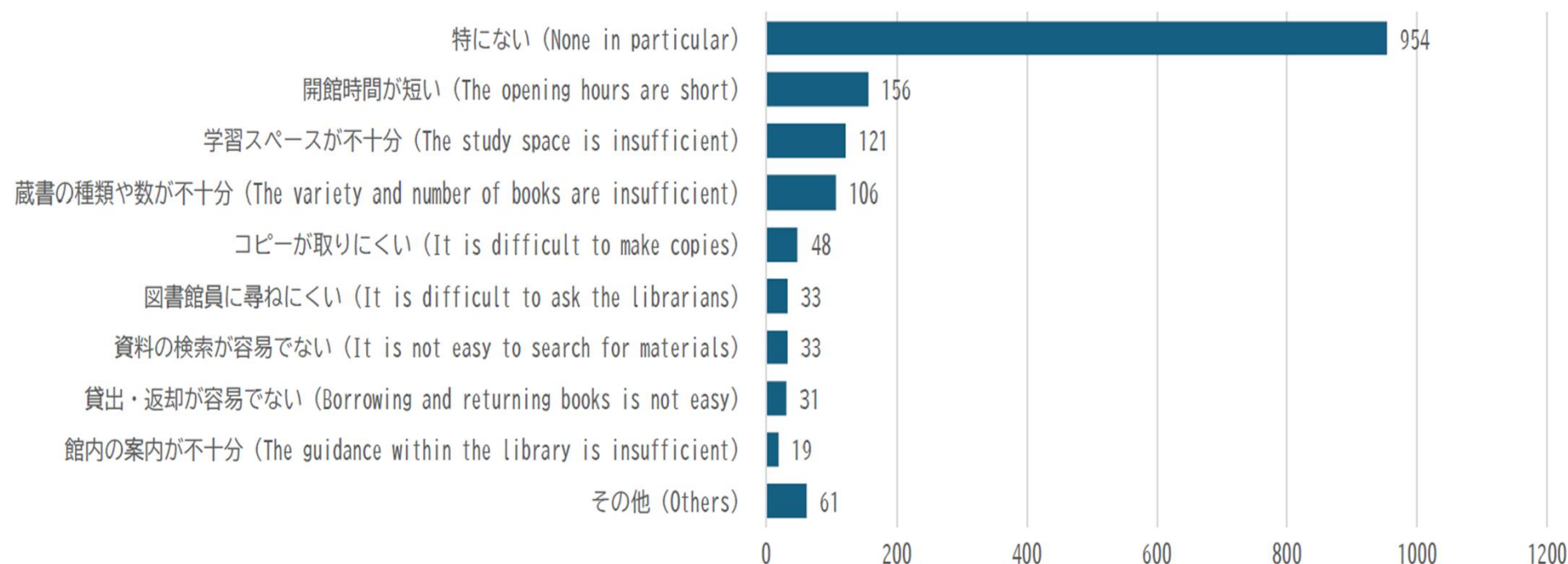
名称	キャンパス・棟	席数	主な設備	利用時間
グループ学習室 A、B	医学図書館	18 席	視聴覚機材、ディスプレイ、無線 LAN、 ホワイトボード、デジタルホワイト ボード	医学図書館の開館時間に準ずる
研究個室 A	医学図書館	1 席	有線 LAN	医学図書館の開館時間に準ずる
閲覧席	医学図書館	150 席	無線 LAN、OPAC 用パソコン 3 台	医学図書館の開館時間に準ずる
教育用パソコン	医学図書館	10 席	教育用パソコン 10 台	医学図書館の開館時間に準ずる
視聴覚コーナー	医学図書館	4 席	ビデオ、DVD、CD	医学図書館の開館時間に準ずる

令和6年度学生生活実態調査より

## 図書館について気になること

38

- 図書館について気になること《複数回答》：「特にない」は回答学生の71.5%。その次に「開館時間が短い」が多い。  
(前回2018年調査時は「特にない」が41.7%であり、大幅に改善。同調査時も、その次に「開館時間が短い」が多かった。)



## 基準 2-3 【重点評価項目】内部質保証が有効に機能していること

分析項目 2-3-1 自己点検・評価の結果を踏まえて決定された対応措置の実施計画に対して、計画された取組が成果を上げていること、又は計画された取組の進捗が確認されていること、あるいは、取組の計画に着手していることが確認されていること

## 【分析の手順】

・機関別内部質保証体制において決定された対応措置（設置計画履行状況等調査において付される意見等、監事、会計監査人からの意見、外部者による意見及び当該自己点検・評価を基に受審した第三者評価の結果を含む。）の実施計画のすべてについて、成果、進捗、検討状況を確認する。

※確認された事項及び計画された取組については、各基準と関連付ける。

## ・計画等の進捗状況一覧（別紙様式 2-3-1）

令和 7 年 4 月 1 日現在

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施 主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検 評価結果等				
令和 5 年 1 2 月	法人統合を機に策定した「東海国立大学機構 図書館グランドデザイン 2021」について、令和 5 年 1 月に国の審議会で示された「デジタル・ライブラリー」推進の考え方を踏まえ、更新することとなった。	第 229 回図書館委員会 (R5.12.5)	名古屋大学・岐阜大学の両図書館委員会の連携の下、図書館の新グランドデザイン検討ワーキンググループを設置し、「図書館のグランドデザイン 2050(案)」を策定した。その案を基に、更に「2035 年の将来像」として見直す検討を進めている。	図書館(学術情報課)	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応中 <input type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	領域 4 基準 4-1
令和 6 年 4 月	文部科学省「人工知能等社会実装研究拠点事業費補助金(オープンアクセス加速化事業)」に、東海国立大学機構として公募申請し即時 OA 義務化に向けて準備を進めることとなった。	第 105 回岐阜大学運営会議 (R6.4.22)	R6 年 7 月に採択され、以下の事業を実施した。 ・戦略的 APC 支援 ・リポジトリ登録支援システムの開発(名大と共同) ・図書館業務効率化のための環境整備 ・デジタルコンテンツの拡充	図書館(学術情報課)	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 ( )	領域 4 基準 4-1

改善・向上が必要と確認された事項			対応計画	計画の実施 主体	計画の 進捗状況	関連する基準
年月	内容	根拠となる自己点検 評価結果等				
令和 6 年 6 月	コロナ禍を経て、図書館における学生の利 用動向が大きく変わったため、本館の館内 ゾーニングの見直しを行う。	第 231 回図書館委員会 (R6.6.6)	全館を「多様な形態で学習する場」とし、2 階・3 階をそれ ぞれ「アクティブラーニングフロア」「個別学習フロア」と 明確に位置づけた上で、最適なゾーニングを検討し、資料 の移動や什器の再配置を実施した。	図書館(学術情 報課)	<input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 対応中 <input checked="" type="checkbox"/> 対応済 <input type="checkbox"/> その他 (        )	領域 4 基準 4 - 1

※指摘事項、意見など、自己点検・評価において、改善・向上が必要と確認された事項すべてについて記載する。

※年月の欄は、機関別内部質保証体制において、確認された年月を記載する。

※関連する基準に関する分析及び判断との整合性に留意する。